# 日南海岸きらめきライン

| | 人口 | 面積 |
|---|---|---|
| 宮崎市 | 40万人 | 645㎢ |
| 日南市 | 5.8万人 | 536㎢ |
| 串間市 | 2.0万人 | 295㎢ |

2015/10/1 現在

人のくに、美のくに九州　(日本風景街道 Q-1)

堀切峠から見るフェニックスと鬼の洗濯板

# 目次


一　太平洋を望む南国情緒あふれる「日南海岸きらめきライン」

二　日南海岸きらめきラインへのアクセスと周遊の組み立て方

1　日南海岸きらめきラインの三つの広域交通拠点
2　公共交通による周遊
3　日南海岸きらめきラインを周遊する
　「テーマ旅」と「地域の魅力旅」

三　テーマ旅～日南海岸きらめきラインの四つの魅力～

1　南国感あふれる緑と青の道
2　神々のドラマが繰り広げられた記紀の道
3　近世以降の繁栄を感じられる歴史の道
4　「大地に絵を描く」おもてなしの道
5　特色ある三つの道の駅

四　日南海岸きらめきラインエリアの
　祭り・ホテル・観光情報など

1　宮崎市
2　日南市
3　串間市

← 堀川運河いかだ流し

↑ 日南海岸のハイビスカス

← 地元の人による花植え活

## 日南海岸きらめきライン

### 一　太平洋を望む南国情緒あふれる「日南きらめきライン」

九州の南東部に位置する宮崎県。県東部は全て太平洋に面して長大な海岸線が続き、県西部は奥深い山々が南北に拡がっている。特に宮崎市以南では鵜戸山地と呼ばれる山地が海岸まで迫り多くの岬や入江が形成され、山の緑と海の青が入り組んだ多様な表情を見せる。この海岸線を主軸とした風景街道が「日南海岸きらめきライン」である。きらめきラインのエリアは宮崎市、日南市、串間市の三自治体で、およそ南北六〇ｋｍ、東西二〇ｋｍの地域である。地図をみてもわかるように、このエリアには海岸部だけでなく広大な山間部も含まれるが、中小規模のまちや集落は主として海岸沿い、あるいは比較的海岸部に近い内陸部に展開している。なお、地図には「花の街きらめきエリア」、「神話きらめきエリア」「郷山きらめきエリア」「歴史・文化きらめきエリア」の四つのエリア区分があるが、本稿ではそれらを包括的に解説していくこととしたい。

さて、「日南海岸きらめきライン」。この言葉を聞いて何を思い浮かべられるだろうか。かつて昭和三〇年代後半～五〇年代前半においては、全国の新婚カップルの約三五％が日南海岸を訪れるという新婚旅行の大ブームがあった。フェニックスや椰子をはじめとした亜熱帯植物、道路や公園を彩る鮮やかな花々、青く雄大な空と海、鬼の洗濯岩、「南国宮崎」のイメージは現在も変わることはない。さらに近年では、著名なゴルフトーナメントや、プロ野球、サッカーチームのキャンプを思い浮かべる方もあろう。全国的には寒さ厳しい折に、青空の下でのびのびとプレーしている選手の姿は「南国宮崎」の風物詩となっており、多くの観光客を集めている。

あるいは「神話の物語」を思い浮かべる方もおられよう。平成二四年は古事記編纂から千三百年、平成三二年は日本書紀編纂から千三百年にあたり、日本神話が改めて注目されているが、中でも日向神話に関わる伝承地や祭をこのエリア内で数多く見ることができる。日向神話は、実際に古代のこの地が中央朝廷と強い結びつきにあったことを示しているが、それが可能になったのは、山海の恵みに満ちた豊かさとともに、黒潮を通じた海の道、九州山地を介した山の道の結節点であること、かつ海や山は他地域からのバリアとなり、他国・他地域の混乱が及びにくいことのような地勢的優位性が背景にあったと考えられる。

外部に開かれながらどこか他地域とは距離感があること。地形の関係からまちや集落が分散的に展開していること、これらはこの地を理解するキーワードとなりそうである。古代より、この地はどの時代においても、九州内の他地域と異なって強大な勢力を形成せず、しかし一定の存在感を持ちながら小規模で自立的な文化圏を保ってきた。そして、それぞれのまちや集落もまた、個性豊かな文化を育んできたのである。

### 二　日南海岸きらめきラインへのアクセスと周遊の組み立て方

#### 1　日南海岸きらめきラインの三つの広域交通拠点

日南海岸きらめきラインは宮崎市の南部、日南市および串間市に展開しており、三市合計で約四八万人が暮らしている。このエリアは南北に長く展開し平地部が限定されているため、この平地部に多くの人口が集積し中心的な街を形成している。交通拠点も三市の中心部が基本となっている。

きらめきライン北端は宮崎市の中心市街地であり、ＪＲ日豊本線の宮崎駅、南宮崎駅が大分方面、鹿児島方面からのゲートとなる。また、宮崎市南部には宮崎空港があり、羽田、中部、伊丹、福岡、沖縄便およびソウル、台北便が就航している。空港から中心市街地へは宮崎空港線、日南線を介して直接接続する。空港から宮崎市街地ま

地図１　日南海岸きらめきラインの概要

ではＪＲで一〇分、バスで二〇分と、全国の他の空港と比較してもアクセスは非常に良い。

高速道路については、大分方面からは東九州自動車道でアプローチでき、宮崎西ＩＣ、清武ＩＣで宮崎市街地に入る。また、熊本、鹿児島方面からは宮崎自動車道を通じて宮崎ＩＣで宮崎市市街地に入る。

高速バスは宮崎駅、南宮崎駅近傍の宮交シティバスセンターを拠点として、九州内は佐賀以外の全ての県庁所在地と直結している。ちなみに宮崎（駅またはバスセンター）―福岡間は約四時間、熊本および鹿児島間とは三時間弱で結ばれている。なお、福岡との間は宮崎―新八代駅を高速バスで、新八代駅―博多駅を新幹線で移動できるＢ＆Ｓ（バスアンド新幹線）があり、所要時間は約三時間である。さらに宮崎と三宮、大阪を経由して京都駅を結ぶ高速バスもあり、所要時間は約一三時間である。

また、宮崎市は中心市街地から港が近いことも特徴である。宮崎港と神戸港との間にカーフェリーが就航しており、関西方面からマイカーで直接乗り入れることもできる。

きらめきライン南部へのアクセスは、宮崎市からは国道二二〇号を通って約七五分で日南市に至る。域外から高速道路で日南市に入るには、宮崎自動車道の田野ＩＣで降りて県道二八号を南下するか（約四五分）、あるいは都城市から国道二二二号を通るルートがある（約八〇分）。なお、国道二二〇号は日南市～串間市～志布志市を結んでおり、串間市中心部には日南市から約四〇分、志布志市からは約二〇分で至る。

鉄道を利用して入る場合は、南宮崎駅から日南駅、串間駅を経由し志布志駅を終着駅とするＪＲ日南線がある。南宮崎駅からは、日南駅、串間駅、志布志駅までそれぞれ七五分、一二〇分、一五〇分である。ただし、便数は少なく、また駅に接続するバスの便も多くはないため、公共交通を利用される方は注意されたい。なお、志布志港には大阪南港からのカーフェリーが就航しているため、関西方面からは志布志港に乗り入れて、そのまま串間方面に自動車で移動する方法もある。

## 2　公共交通による周遊

きらめきラインエリア全体の公共交通による周遊についてまとめておく。鉄道は先述のようにＪＲ日南線がきらめきラインの南北を結ぶ。バスについては、基本的には宮崎交通バスがカバーしているが、一部地域はコミュニティバスの運行となっており、注意が必要である。

宮崎市内での移動については、鉄道もさることながら、バスでの移動が比較的便利である。宮崎駅、中心市街地の橘通付近および南宮崎駅近くの宮交シティバスセンターがバス交通の拠点であり、ここから市内および周辺地域への路線バスが走っている。市内ではバスの路線も便数も多く移動は容易である。一方、市内から日南市方面（油津や飫肥）に向かう便は一時間に一本程度であるため注意されたい。

日南市については、先述のようにＪＲ日南線があり、観光拠点である飫肥と油津にそれぞれ駅がある。バス利用の場合は、油津駅前バスセンターが拠点であり、宮崎市からの便もここに到着する。飫肥城など市内の主要な観光地には路線バスで比較的便利に移動できる。なお、日南市にはコミュニティバスも運行しており、主に山間部の集落をカバーしている。

ここでＪＲ日南線を走るリゾート特急「海幸山幸」に触れないわけにはいかないだろう。同列車は、平成二一年から宮崎駅―南郷駅間を、毎日の運行ではないが、運行日には一日一往復で結んでいる。県産材である飫肥杉をふんだんに使った内外装は多くの鉄道ファンに人気であり、また沿線の風景をゆっくりと楽しむことができる。この列車と連動する形で宮崎交通の観光バス「にちなん号」が走っているため、両者を組み合わせた観光はこの地域の一つの目玉となっている。

串間市については全てのコミュニティバス路線はＪＲ串間駅を経由するが、都井岬など主要な観光地に向かうバスの便数は少ない。串間市での公共交通利用の観光は、移動が限定的にならざるをえないことに留意されたい。

このように、日南きらめきラインを公共交通機関で巡る場合は、宮崎市中心部、日南市の主要部分についてはバスの利用が可能であるが、そのほかの地域においては基本的には便数、接続性も含めバスでの移動には制約が伴う。また、きらめきラインエリアは南北に長い上に、観るべき場所も広範囲に散らばっているため、周遊は自動車が基本となろう。幸いにして宮崎市、日南市、串間市にはレンタカー会社もあることから、まずはその拠点までは公共交通を利用し、そこからレンタカーで周遊することが効率的であろう。

## 3　日南きらめきラインを周遊する「テーマ旅」と「地域の魅力旅」

日南海岸きらめきラインの基本的な周遊の組み立て方を確認しておこう。風景街道ルートのエリアは南北に長い上に観るべき場所も広範囲に散らばっているため、自動車利用であってもどこかを拠点とした日帰りや一泊二日程度でエリア全てを巡ることは難しい。そこで、まずは特定の主題をもって少し広域的に巡る「テーマ旅」か、あるいは特定の地域を集中的に巡る「地域の魅力旅」かを決め、それを基本にして旅行ルートを計画されることをお勧めしたい。

テーマ旅については次に紹介する「きらめきラインの四つの魅力」のいずれかをテーマとして、特定のスポットを結び、比較的広域を効率よく巡ることになろう。一方、地域の魅力旅については、特定のエリアの中で、テーマ旅の中で紹介する各種スポットを効率的に結びつけて巡ることになろう。

## 三　テーマ旅～日南海岸きらめきラインの四つの魅力～

### 1　南国感あふれる緑と青の道

日南海岸きらめきラインの第一の特徴は、なんといっても海岸沿いの南国的な風景である。広大な青い海に迫る緑深い山々、沿道には色とりどりの草花の中にフェニックスや椰子の木。夏にはそれぞれの色が力強く鮮やかに目に飛び込み、冬場においても緑は力を失うことはない。宮崎市南部から串間市にかけての海岸部は昭和三〇年に日南海岸国定公園に指定され、以来、多くの観光客を受け入れてきた。一方で、あまり知られてはいないが、きらめきライン西部の山間地エリアには豊かな森林と渓流が幾つかあり、格好の自然体験の場となっている。

ここでは「南国感あふれる緑と青の道」をテーマに、主に自然景観を楽しみ、体験できる代表的な場所を紹介していこう。

●日南海岸の絶景地を巡る

〈青島周辺〉

宮崎市から国道二二〇号を南下すると、すぐに青島に到着する。いわゆる日南海岸らしい風景はこの青島を起点として日南まで続く。

青島でまず目につくのは、国の天然記念物にも指定されている鬼の洗濯板（あるいは鬼の洗濯岩）と呼ばれる波状岩であろう。日南海岸一帯は、宮崎層群と呼ばれる固い砂岩と軟らかい泥岩が繰り返し積み重なった地層で形成されており、この柔らかい泥岩が波で浸食され、固い砂岩だけが残ったものが鬼の洗濯板である。青島はその周辺をすべて広大な波状岩で囲まれており、その風景は圧巻である。

なお、鬼の洗濯板は青島に限らず、青島から南約八ｋｍのところにある巾着島までの海岸のいたるところで見られる。青島サンクマール、道の駅フェニックス、内海地区、いるか岬などが代表的な場所であるが、気に入った場所を見つけて、磯遊びを楽しんでみるのもよい。

さて、青島にはもう二つの顔がある。亜熱帯植物の群生地であることと、海幸山幸の伝承に由来を持つ青島神社である。青島神社については、「神々のドラマが繰り広げられた記紀の道」の項で触れるとして、ここでは「緑と青の道」に関連して、亜熱帯性植物について述べておこう。

島にわたって最初に目に入るのはビロウの群落で、島全体は約四三〇〇本のビロウの木で覆われているとのこと。ビロウ林のなかに続く青島神社の境内はまさにジャングルを歩いているようである。青島には熱帯及び亜熱帯性植物が二七種存在し、「青島亜熱帯性植物群落」として特別天然記念物に指定されている。これら植物の由来に

地図２　宮崎市

写真１　青島

写真２　青島亜熱帯植物園

ついては幾つかの説があるようであるが、いずれにしてもこのような大規模な群落が形成されるほどに、この地域が温暖であることは間違いない。

また、青島参道に隣接して青島亜熱帯植物園がある。ここは、世界文化遺産にも登録されているシンガポール植物園と姉妹園であり、ビロウなど１０種類にも及ぶヤシ科の植物が植栽されているだけでなく、ブーゲンビリア、ハイビスカス、ジャカランダ、パラボラチョなどの亜熱帯花木類が数多く植栽されているのも、見逃せない。

青島に限らず、日南海岸一帯ではこの温暖な気候に特徴的な植物をみることができる。ビロウのほかアコウやソテツが代表的であろう。特にアコウの木は枝から垂れ下がるヒゲのような気根、複雑に絡み合った幹、巨大な樹冠など、なかなか印象深い形をしている。野島神社の境内にあるアコウは樹齢三百年、樹高十五メートルもあり、「内海のアコウ」として国指定天然記念物となっている。

なお、青島バイパス入口から約二・五ｋｍほど南に行くと青島パーキングがあり、「とるぱ」として整備されている。ここからは、青島や鬼の洗濯板を一望できるので、休憩がてら立ち寄ってみたい。

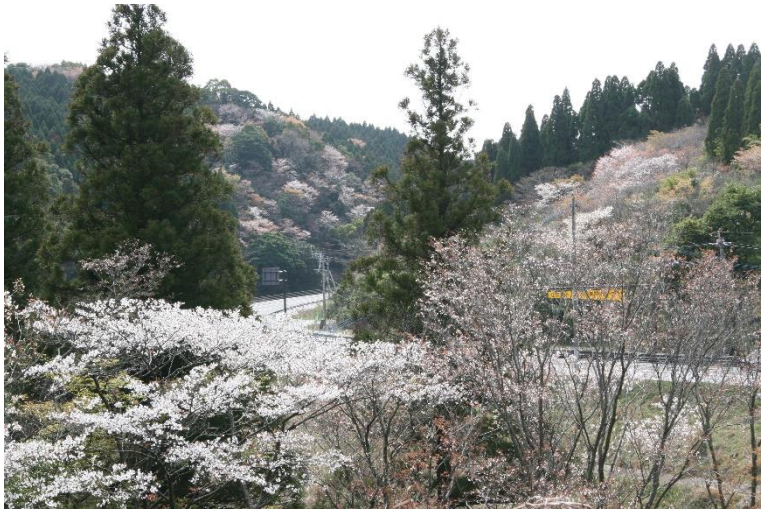


写真３　堀切山桜

写真４　堀切峠

〈堀切峠から日南市へ〉

青島から車で南下すると一〇分程度で、堀切峠の入り口にさしかかる。このあたりは山の中腹に多くの山桜が植栽されている。三月中旬の、国道に沿った谷の向こう斜面に淡いピンク色の山桜がぽつぽつと浮かび上がっている風景は、春の訪れを印象深く私たちに告げる。そしてこの山道を抜け、ゆるやかなカーブを登り切ると、突然に広大な海と空の視界が開ける。そこが堀切峠である。

数本の椰子の木とフェニックスを中心として、そのバックには青い海と空が広がる。この絵はがきのような風景は何といっても宮崎観光の定番であろう。フェニックスのそばに立つと、眼下には鬼の洗濯板が広がり、沖合には漁船やフェリーなどの大型船が行き交う。そして南側に目をやると、遠くには岬と浦の入り組んだリアス式海岸が見える。実にスケールの大きな眺めである。

堀切峠のすぐ南側には「道の駅フェニックス」がある。道の駅から道路を挟んだ海側には展望用のボードデッキが設置されており、そこからもまた眼下に鬼の洗濯板と美しい海が見渡せる。ボードデッキから崖下の海までは散策道が整備されており、四季の花々を楽しみながら歩くこともできる。さらに道の駅の山側も、一年を通して美しい花木・草花を楽しむことができる。ちなみに、道の駅フェニックスと堀切峠は、道路沿いの遊歩道で結ばれているため、道の駅に車を止めて、堀切峠まで歩くこともできる。

堀切峠から日南市の区間はリアス式海岸となっており、岬部では高い位置から海岸を見晴らし、入り江部では海岸に近いレベルを走り集落を抜けて行く。海の色も空の色も季節や天候で様々に変化する。小さな漁港では作業をする住民の方々や、防波堤で釣りをしている人々ものどかな風景の主役である。

この道をしばらく行くと、日南海岸きらめきライン巡りの重要ポイント、鵜戸神宮は日南市の市街地に入る直前にある。国道から脇道に入ると、漁港や鬼の洗濯板を眺めながら神宮にたどり着く。この神宮周辺の森と海の風景も絶品であるが、これについては後で「神々のドラマが繰り広げられた記紀の道」の中で触れていこう。

〈日南市から都井岬へ〉

日南市から国道二二〇号を南下し、南郷から国道四四八号を南に一五分ほど行くと「道の駅なんごう」に着く。この駅は海に面した斜面の中腹にある。道の駅の展望デッキからは、左手には外浦港が、目前には観音崎の造船所等が展開し、このまちの人々が海とともに生きていることが実感できる。そして右手側に目をやれば、青々とした海の中に、緑豊

かな島々や奇岩が並んでおり、その中を漁船が行き来する姿を見ることができるだろう。

この道の駅なんごうの周りには必見の場所が三つある。一つ目は道の駅の裏手の山を少し上ったところにある山桜の大木。そして山桜の大木から少し上ったところにあるジャカランダの群生林である。裏山全体では約一〇〇本の山桜が自生しているが、樹齢一二〇年、幹周り三ｍのこの木は別格である。二月の終わりから三月始めにはその大きな樹冠が白めのピンク一色に染まる。一方、ジャカランダは五月下旬から六月末頃まで青紫色の花が咲き山の斜面を埋め尽くす。国内でジャカランダの群生林があるのはこの地区のみで、開花シーズンにはジャカランダ祭が開催され、全国から観光客が訪れる。

二つめは、道の駅の裏山を縫う遊歩道である。多くの椰子、ビロウなどの亜熱帯性植物や自然木の椎の木などが緑のトンネルを形成しており、また足下にはオタニワタリやクワズイモ等のシダ類が繁茂しており、その姿はまさにジャングルである。この遊歩道は山の急傾斜地に沿って設置されているために、高度の変化によって海は様々な表情を見せてくれる。そして三つめは、道の駅の裏手の山を登りきったところにある宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場内のトロピカルドームである。これは、全面ガラス張りの大温室で、中には亜熱帯果樹、熱帯花卉が所せましと植えられている。大小の色鮮やかな花々や、巨大な熱帯植物、そしてなじみの少ない熱帯性フルーツが実っている風景はまさに南国である。

**コラム　ジャカランダのまちづくり**

ジャカランダは、世界三大花木の一つに数えられる南米原産の木である。昭和三九年にブラジル県人会の方が宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場にジャカランダの種を譲渡し、同試験場で育成したのが始まりである。しかし、育成はなかなか難しく、一四年後の昭和五三年に初めて開花した。以降、同支場では苗木を育成し植栽してきており、現在ではこの地域で七〇〇本となっている。日本で唯一のジャカランダ群生地と呼ばれる所以である。また、平成二三年からは、道の駅なんごうの指定管理者であるＮＰＯ法人が中心となり「ジャカランダの街づくり事業」を開始し、南郷町内の道路沿い、公園、民地のいたる所にジャカランダを植栽する活動を展開している。ジャカランダの成長は比較的早いので、二〇年後には高さ数メートルに成長するだろう。薄紫色でまちが染められる「ジャカランダのまち」が出現する。

なお、この道の駅なんごう一帯は、宮崎県総合農業試験場「亜熱帯作物支場」のエリアとして管理されている地区である。この支場は亜熱帯性作物等の新品目開発・改良のための試験研究を行っており、亜熱帯作物支場がある山自体を研究フィールドとするものであるが、それが観光スポットともなっている。先述のジャカランダもその経緯で植樹され、今に至っている。

道の駅なんごうから国道四四八号を一〇分ほど南下すると幸島が、そして幸島から二五分ほど南下すると都井岬がある。なお、都井岬には串間市街地からもアプローチでき車で三〇分程度である。幸島も都井岬も「南国感あふれる緑と青の道」を代表する景勝地であるが、ここでは「南国で暮らす動物」が見どころである。

幸島は、石波海岸の沖合一〇〇ｍにあり、周囲約三・五ｋｍでほぼ全域を常緑広葉樹と照葉樹林に覆われた島である。この島で棲息する約一〇〇匹のニホンザルは、昭和九年に国の天然記念物に指定された。特に、幸島のサルを有名にしたのは、京都大学霊長類研究グループによって確認された、一部のサルが始めた「芋洗い行動」が他のサルそして次世代のサルに伝播するという「文化伝播」の現象である。

そしてこの現象は、サルの社会構造を研究対象とするという研究グループのスタンスとともに、日本ひいては世界における霊長類研究の先駆けとなったのである。幸島対岸の市木地区には京都大学野生動物研究センター幸島観察所が置かれており、観察・研究が続けられている。

幸島には渡し船で渡ることができる。ここのサルは人に餌付けされておらず、観光客が餌を与えることも禁止されているため、サルが人にちょっかいを出したりすることはない。サルは、観光客の存在にかまわずマイペースで遊んだりくつろいだり、時にはけんかしたりしている。そのありのままの姿はのどかでほほえましい。

写真５　「道の駅なんごう」からの眺め

都井岬は地図を見てもわかるように、志布志湾を形成する南向きの大きな半島状の陸地からさらに岬が突き出る形状をしている。このため、宮崎県内では珍しく海側に沈む夕日を眺められるポイントである。岬の突端には都井岬灯台があるが、その場所は海抜二五五m。この高みから二七〇度の広さをもって眺められる太平洋の景観は壮大である。朝日、夕日の時間帯はまた格別である。灯台は一般公開されているので、灯台の上からも遙か太平洋や志布志湾を眺めてみたい。ちなみにこの灯台は昭和四年に供用され、コンクリートの灯塔だけは建設当時のものである。海の青さと岬の緑に囲まれた白亜の美しい灯台として、日本の灯台五〇選にも選ばれている。

地図３　都井岬周辺

都井岬の魅力はもちろん、その灯台と海の風景だけではない。むしろ「御崎馬」と呼ばれる日本在来種の野生馬の群れの方が有名だろう。高鍋藩秋月家が元禄一〇年（一六九七年）に設置した藩営牧場が御崎馬の始まりであるが、以来三〇〇年以上の間、人為的管理をほとんどしない周年放牧がなされ、繁殖と育成も自然にまかされてきた。まさに野生馬である。御崎馬は現存する日本在来馬の一つとして、昭和二八年に国の天然記念物に指定されている。

**コラム　都井岬の管理**

都井岬での野生馬の放牧は、秋月藩の牧場に由来を持つことは本文で述べたが、現在は地元住民によって構成される「御崎牧組合」が共有管理している。これは、明治維新にともなって同組合に牧場の払い下げが明治七年に行われたことに端を発する。この際、都井岬の土地だけでなく、馬、木を含めたすべてが組合の管理するところとなった。御崎馬は、本当の意味での野生馬とは必ずしもいえない。一月には岬内の草地の育成、害虫駆除のために野焼きが行われ、五月下旬頃には御崎馬を柵に追い込み、ダニ駆除が行われている。丘に広がるのびのびとした草地、その中で暮らす馬たちの風景は、このような地元住民の方々の営みの上で保全されていることに心を留めておきたい。

さて、この御崎馬の一般的解説はこの辺にして、都井岬を散策してみよう。岬の入り口にある駒止めの門を抜けると、そこからは御崎馬の楽園である。そのまま進むと道路を馬の親子が横切ったり、路肩に立っていたり、斜面から降りてきたりという光景が普通に展開しており、都井岬は馬が主役であることが実感できる。そしてもう少し進んでいくと、広大な丘で馬の家族がそれぞれにのんびりと草を食む穏やかな風景が見えるだろう。ここは是非、車から降りて歩いて丘に登ってみて欲しい。広大な海と空を背景にしてのんびりと草を食む野生馬の群れは、日南海岸の観光を代表する風景である。そして馬を間近に見てみよう。御崎馬は人が餌付けをしていないこともあって、数メートルの距離にまで近づいてもこちらには無関心で泰然としたものである。馬の目の表情や毛並みまで、存分に観察できる。特に、御崎馬の赤ちゃん（春駒）のかわいさはまた格別である。出産シーズンは四～五月がピークなので、この時期をねらって訪れるのも良い。

なお、都井岬の馬はもちろん自由に見学可能であるが、是非、「野生馬ガイド」さんにお願いして見学することをお勧めしたい。申し込みは「都井岬ビジターセンター」で可能である。このガイドさん、実に博識で、御崎馬のことだけでなく、都井岬の動植物の生態系の話、神話や歴史の話もわかりやすく面白くしていただける。もちろん、ビジターセンターでは御崎馬に関する資料が展示されているので、都井岬に関するウンチクを身につけて帰りたい。

●マリンレジャーの体験スポット

日南海岸きらめきラインの海は眺めるだけでなく、様々なマリンレジャーを楽しめる。マリンレジャーを中心に組み立てる旅行をブルーツーリズムと呼ぶが、せっかく訪れるのであれば、このブルーツーリズムの要素も組み込んでみたい。

〈海水浴や磯遊び〉

最も気軽に楽しめるのは海水浴や磯遊びであろうか。いたる所に

写真６　御崎馬

ある鬼の洗濯板は潮だまりも多く比較的安全に磯遊びができ、生物観察には絶好の場所である。また、日南海岸きらめきラインには多くの海水浴場があり、宮崎市の青島や白浜、日南市の大堂津や富土、串間市の高松海水浴場が代表的である。もちろん、海水浴シーズンでなくても風を浴びながら浜辺をゆったりと歩くのも良い。串間市の石波海岸は「日本の渚百選」にも選ばれているが、見事な孤を描いて長く延びており、伸びやかな風景を楽しみながらの散策には絶好の場所である。ただし、この石波海岸は潮流の関係で遊泳禁止となっているので注意されたい。日南海岸には多くの砂浜があるが、遊泳禁止になっているものも多いので、注意が必要である。

〈グラスボートで竜宮城へ〉

船に乗って海中の景色を楽しみたい方には、グラスボートがお勧めである。日南市南郷町には、日南海中公園を巡る半潜水式の水中観光船「マリンビューワーなんごう」が運行している。このエリアは波も穏やかなので、高齢の方や子供でも安心である。船底のガラス越しにはテーブルサンゴを始めとした珊瑚類、熱帯性も含む様々な魚類を見ることができる。

写真７　石波海岸

写真８　サーフィン

〈気分は漁師のトビウオすくい〉

もう一つ、一般の方でも気楽に楽しめる夏（六～十月）の体験レジャーが串間市都井の「観光トビウオすくい」である。闇夜に出港し、沖の漁場に到着すると強い光の集魚灯を焚く。トビウオはこの光に誘われて集まってくるため、これを大きなタモ（手網）で勢いよくすくう。女性や子どもでも挑戦でき、とった魚はすべて持ち帰ることができる。取れたてのトビウオの刺身は、スーパーで買ったものとは格段に違う。

〈よりディープに海を楽しめるサーフィン、ダイビングなど〉

サーフィンとダイビングは、誰もがという訳にはいかないが日南海岸ブルーツーリズムの代表選手である。特にサーフィンの世界で宮崎・日南海岸は全国のみならず世界的にも知名度が高い。試しに「宮崎　サーフィン」とネット検索してみて頂きたい。サーフスポットや波の状況、ショップやスクール、移住サーファーのブログ、民宿、大会等々、サーフィンに関わる情報が満載である。実際にサーフィンをされている方々は詳しい情報を既にお持ちであるし、情報入手の仕方もご存じなので、ここではサーフィンに縁遠い方に紹介したい、いわゆる「サーファーの風景」を取り上げよう。

たとえば、宮崎市木崎浜海岸は、宮崎空港の南、青島の北に広がる南北二ｋｍの眺めの良いビーチであるが、ここは大きな大会も開催される有名スポットである。潮や天候の状況にもよるが、ここを訪れると多くのサーファーが思い思いに波乗りを楽しんでいる風景を見ることができる。沖合で浮かびながら大きな波が来るのをずっと待っている者、波の上をまっすぐに岸に向かっている者、大きな波に沿ってターンを決めている者。多くのサーファーがそれぞれに波乗りを楽しんでいる風景は、見ているこちらも楽しくなる。日南海岸きらめきラインにはこのようなサーフィンスポットが幾つもあり、海岸沿いを移動する際には、是非、少し沖の方にも目を向けたい。

なお、宮崎市内のサーファーたちは、他の団体とも共同で定期的に海岸清掃を行ったり、ゴミや駐車問題などサーファーと地元住民との間のトラブルを回避するためのルールづくりを行っている方々もいる。さらには、サーフィンをするために県外から海岸沿いの小集落に移住してきた人も多く、その中には、集落や地域活動の担い手として活躍されている方もおられる。また、日南市鵜戸小中学校では、体育の授業にサーフィンを取り入れたサーフィン教室が、日南市サーフィン連盟の協力のもとに行われている。このような動きが日南海岸ならではの地域文化となっていくことを願うばかりである。

ダイビングについては、宮崎・日南・串間市内にあるダイビングシ

ョップを通じれば、初心者から上級者までサポートしてくれる。特に、日南市南郷町の南郷海岸と大島の間には日南海岸国定公園の中でも海中公園地区が指定されており、サンゴや熱帯魚類など様々な海中生物を観察できる。また、串間市都井岬沖には九州最大規模のテーブルサンゴの群生地がある。

そのほかのマリンレジャーについても、釣り船はもちろんのこと、シーカヤックや水上バイクなど、多様なアクティビティを楽しんでいる方々がおられる。これらについては、インターネットや地元のショップ、あるいは観光協会等に問い合わせてみてほしい。

●山間地エリアで自然体験

日南きらめきラインエリアの西側に位置するエリアでは、標高はさほど高くないものの山々が奥深く連なり広がっている。この山間地は古くから地域の経済を支えてきた杉（飫肥杉）の人工林が多い一方で、自然林もかなり残されている。また、美しい渓谷も幾つかあり、様々な自然体験が可能である。

〈宮崎自然休養林と加江田渓谷〉

林野庁は、国有林の豊かな自然を森林レクリエーションの場として積極的に活用することを目的として、山岳、渓谷、湖沼などと一体となった美しい森林やスポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として選定している。「レクリエーションの森」はさらに、それぞれの森林の特徴や利用目的に応じて、自然休養林、自然観察教育林、風景林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域、風致探勝林の六種類がある。自然休養林は、特に景観が美しく、保健休養に適した森林で、自然探勝、登山、ハイキング、キャンプなどを複合的に楽しむことができる森林に指定されるもので、宮崎自然休養林はこれにあたる。

宮崎自然休養林は、九州に残存する自然林として国の天然記念物に指定された双石山（ぼろいしやま）と、原生林に覆われた約八キロ続く加江田渓谷の一帯が指定されており、宮崎市と日南市に広がっている。加江田渓谷の渓流沿いにはかつて林業用のトロッコが走っていた軌道跡に遊歩道が整備されており、透き通った川を眺めながら自然林と杉の人工林の緑の回廊を気持ちよく歩くことができる。また、双石山は標高五〇九ｍと高くはないため、比較的気軽に登ることができる。この山は、照葉樹の自然林の他に、奇岩が多いことでも有名で、天狗岩と呼ばれる奇岩、象の墓場と呼ばれる巨岩地帯は、一見の価値がある。

〈猪八重渓谷と猪八重の滝風景林〉

日南市北郷町を流れる広渡川の支流猪八重川のさらに支流猪八重谷川には五重の滝を中心に二〇数カ所の滝群があり、奇岩も多い男性的な渓流があり猪八重渓谷と呼ばれる。この猪八重谷川の周辺には、シイやタブ等の常緑広葉樹の自然林が岩山のなかにうっそうとして広がっており、猪八重の滝風景林と呼ばれている。

「風景林」とは、先述の林野庁が指定する「レクリエーションの森」に位置づけられる。渓流沿いには片道三ｋｍの遊歩道が整備されているため、気軽に豊かな自然とふれあうことができる。また、この一帯は「コケの宝庫」でもある。渓谷で発生する水霧と深い森林のおかげで、渓谷一帯は一定の湿度と温度が保たれており、それがコケ類の成長に良いのだろう。世界中で約一八〇〇種類あるといわれるコケの中の約三〇〇種がこの渓谷一帯で確認されているとのことである。

ちなみに日南市北郷町は、森林浴のリラックス効果のほか、血圧の低下や身体の免疫力の向上など、心身を癒す効果が高いことが科学的に実証された森林のあるエリアとして、「森林セラピー基地」の認定を受けている。地元ガイドとともに歩けば、猪八重渓谷の魅力をより深く楽しむことができよう。

なお、日南市にはコケ博士と呼ばれ、世界的に著名な服部新佐氏が開設した「服部植物研究所」がある。博士は猪八重渓谷を研究フィールドに、多くの世界的に珍しい蘚苔類を発表された。研究所は一般にも公開されているので時間があれば立ち寄ってみるのもよい。

写真９　猪八重渓谷

●晩秋・早春はスポーツ観光の最盛期

宮崎県は、他の国内地域に比べて温暖で、日照時間や晴天率は全国トップクラスであるが、特に宮崎市以南の地域すなわち日南海岸きらめきラインのエリアは、晩秋から早春にかけての季節においてその傾向が顕著である。この温暖さと天候の良さから、古くからプロ野球の春季キャンプが開催されてきており、近年ではＪリーグなどのプ

ロサッカーのキャンプや国際的なゴルフトーナメントも開催されている。

〈プロスポーツのキャンプ〉

◆プロ野球

プロ野球チームが宮崎でキャンプを行うようになったのは昭和三四年の巨人キャンプが最初である。それから五〇年、チーム数の増減はありながらも、プロ野球春季キャンプは継続しており、今では宮崎県の早春二月の風物詩となっている。キャンプシーズンには、家族連れからコアなファンまで、また、野球関係者や報道関係者も多く宮崎を訪れ、まちはキャンプ一色に染まる。宮崎市を中心とした宿泊施設も、キャンプシーズンには一杯になり、夜の街も賑わう。一説によると、県全体でのキャンプ効果は一〇〇億円を越える年もあるとか。

ちなみに平成二五年の状況をみてみると、宮崎市内三球団、日南市二球団が日南海岸きらめきラインのエリアでキャンプを実施している。また、韓国のプロ野球一球団も二月末～三月初頭に宮崎市を訪れている。また、日南海岸きらめきラインのエリア外ではあるが、日向市で国内一球団（ファーム）、韓国一球団が、西都市でも一球団（ファーム）がキャンプを実施している。この他、平成二五年のＷＢＣ（侍ジャパン）の合宿も宮崎で行われ、米メジャーリーグの有名選手も参加し、多くのファンが全国から訪れたことは記憶に新しい。

◆サッカー

プロサッカーチームのキャンプはプロ野球チームより少し早く、一月中旬から始まる。宮崎県はＪリーグのキャンプのメッカでもある。実際、平成二七年ではＪ1～Ｊ3で二二チームが県内でのキャンプを実施している。日南海岸きらめきラインのエリアにおいては、宮崎市でＪ1五チーム、Ｊ2六チームがあり、日南市ではＪ2一チームがある。その他は、延岡市、西都市、都城市、綾町、高城町がキャンプ会場となっている。

◆ゴルフトーナメント

宮崎のスポーツ観戦を語る上で、もう一つ欠かせないのがゴルフトーナメントである。ダンロップフェニックストーナメントは、昭和四九年より続く伝統ある国際的ゴルフトーナメントで、毎年一一月に宮崎市内のゴルフコースで開催される。そして同月最終週には日本の女子プロゴルフメジャー大会であるＬＰＧＡツアーチャンピオンシップリコーカップが行われる。こちらも平成五年より継続して宮崎市内で開催されている。

ダンロップフェニックストーナメントには世界的なプロゴルファーが多数集結し、リコーカップは最近の女子プロゴルファー人気もあって、多くのギャラリーが全国から来宮する。もちろんゴルフ関係者やマスコミも多数、滞在する。歓迎行事や関連行事も行われ、一一月の宮崎はゴルフトーナメント一色となる。

また、平成二五年よりは、三月にアクサレディスゴルフトーナメントが開催されており、プロスポーツのキャンプ・トーナメントシーズンの締めを飾ることになった。

**コラム　スポーツランド宮崎**

日南きらめきラインのエリアに限らず、宮崎県内では多くのプロスポーツのキャンプが行われ、また国際・国内大会が開催されている。さらに社会人や大学等のアマチュアスポーツの合宿も数多い。これは宮崎の温暖な気候と晴天率・日照時間の長さの優位性にもよるが、もう一つはそれを受け入れる環境の水準の高さによるものでもある。本文に示したように、読売巨人軍のキャンプは昭和三四年から、そしてダンロップフェニックストーナメントは昭和四九年から継続しているが、以来ずっと宮崎の地は、スポーツ関連施設の整備を図ると共に、官民を挙げて受け入れ体制を充実させてきた。平成八年には、宮崎県、旅館組合、県観光協会等により「スポーツランドみやざき推進協議会」が設立され、以降、官民が一体となって、広報や受入体制整備、スポーツイベント開催等によるキャンプ・合宿誘致活動が行われてきている。

近年では、県が「スポーツメディカル支援事業」を立ち上げ、大学病院や民間病院と連携して、身体管理、運動能力の向上を図るような取り組みを推進している。

## 2　神々のドラマが繰り広げられた記紀の道

宮崎県、そして日南海岸きらめきラインを語る上で「日向神話」は必須である。古事記の上巻すべてと日本書紀の第一、二巻は神代の物語が書かれているが、これを称して日本神話または記紀神話と呼ぶ。記紀神話はその舞台によって高天原神話、出雲神話、日向神話に分けて呼ばれる。日向神話は宮崎を舞台としているとされ、宮崎県内には多くの日向神話の伝承地が存在している。

もちろん、日向神話にまつわる伝承を有するのは宮崎県内だけに限らない。また、宮崎県内でも同一の伝承を持つ複数の地域もある。例えば、宮崎県北部の高千穂町も、宮崎県南部の高千穂峰、そして鹿児島県の笠沙はいずれも天孫降臨の地とされる。あるいは西都市と宮崎市木花地区、延岡市愛宕山には、コノハナサクヤヒメとニニギノミコトの同一の伝承がある。そもそも「神代」の話であるので、どちらが正統かという議論にこだわり過ぎるのもよくないだろう。大切なことは、特定の地を伝承と結び

つけその地域に住む誇りを生み出そうとした行為であり、そしてその伝承を大切にしながら連綿と神々を敬い生活してきたその行為ではなかろうか。ある意味では古来の人々の「伝承の地としての見立て」が現在までの「くにづくり」「地域づくり」の基盤となってきたと言えよう。これこそが、かけがえのない地域の文化である。

といいつつも、西都市の西都原古墳群を中心とした多くの古墳群の存在から、この地域が中央集権と強いつながりをもっていたことについては専門家も認めるところでもある。このあたりは神話の底深さであろう。

ここでは、日南海岸きらめきラインエリアでの神話ゆかりの地を紹介したいが、その基本的知識としてまずは神々の系譜とストーリーが必要であろう。そこで、神話のあらましをまず記述して、次いでその話にゆかりのある地を紹介する形で整理しておく。ただし、日向神話ゆかりの地は宮崎県内あるいは他県にも散在しており、日南海岸きらめきラインのエリアに限定して紹介することは逆に神話の面白さを削ぐことになる。ここでは、きらめきラインエリアのみに限定せず、あわせて巡ることを念頭に入れて主要なゆかりの地について触れることとしたい。

〈国生み・神生み〉

原初のどろどろとしていた世界において天地が分かれた後、天である高天原（たかまがはら）に次々と神が生まれ、最後に現れたのがイザナギとイザナミの男女一対の神である。イザナギとイザナミは下界に国を作るように命じられ、一四の島々と四〇の神々を生んだ。イザナミは最後の火の神を生んだ後大やけどを負って死に、黄泉の国に行ってしまう。イザナギは妻に合いに黄泉の国に行くが、そこで無残な姿となった妻をみて驚き、地上に逃げ帰る。

地上に戻ったイザナギは「筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原」で禊ぎを行う。そのときに多くの神々が生まれ、その最後に生まれたのが、高天原を治めるアマテラスオオミカミ、夜の国を治めるツクヨミノミコト、海を治めるスサノオノミコトである。

●「筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原」は、神社で奏上される祓詞の中に今も残るフレーズであるが、その場所は現在の宮崎市阿波岐原町とされている。同町にある「江田神社」はイザナギ、イザナミを祀る。創建は不明であるが、「続日本後紀」（八三七年・承和四年）では「江田神社」として官社とされており、その由緒は古い。神社のすぐ近くにはイザナギが禊ぎしたと伝えられる静謐な御池（みそぎ池）がある。この一帯は、「阿波岐原森林公園（市民の森）」に指定されており、宮崎市市街地に近いながらも鬱蒼とした林が広がっている。神社の境内にはクスの大木等もあり、このエリア全体がスピリチュアルな雰囲気を醸し出す。

〈天岩戸隠れ〉

スサノオはイザナギから海を治めるよう命じられたのだが、黄泉の国の母が恋しいと泣きわめき乱暴狼藉をはたらく。これを恐れたアマテラスが天岩戸（あまのいわと）という洞窟に隠れ、岩の扉を閉めてしまうと世界は闇に包まれる。八百万の神は困り果て、天の安河原（あまのやすがわら）に集まり、事態を打開する作戦を相談する。その作戦は・・・「天の岩戸の前で神々が大宴会をし、女神アメノウズメノミコトが色っぽくおもしろおかしく踊る。何をしているのだろうとアマテラスが外をのぞいた瞬間に、力持ちのタヂカラオノミコトが天岩戸を開け放ち、アマテラスを外に連れ出す」というものである。作戦は首尾良く成功し、この夜に光が戻る。スサノオは出雲国に追放される。（出雲神話はスサノオが出雲にたどり着くところから始まる。）

●ここまでは高天原（天上界）の話ではあるが、宮崎県北部の高千穂町には強力なゆかりの地が埋め込まれている。高千穂町の中心部から岩戸川を少し上ると、天岩戸神社と天安河原がある。天岩戸神社は、岩戸川を挟んで西本宮と東本宮があり、西本宮の主祭神がアマテラスである。西本宮の対岸の山の中腹にはアマテラスが隠れた天岩家がある。天安河原は神社から川沿いの遊歩道をさかのぼること一〇分ほどのところにある。岩戸川のすぐ傍らに広い洞窟があり、ここで八百万の神が集い、アメノウズメが舞った。鬱蒼とした木々に覆われた洞窟の暗がりのもとには多くの石が段状に積まれ、一方では目の前に清冽な渓流が流れている。神聖かつある種のすごみを感じる風景が広がる。

写真 10　みそぎ池

〈天孫降臨〉

アマテラスは、孫のニニギノミコトを地上の葦原中国（あしはらのなかつくに）を治めるように命じる。ニニギはアメノウズメや道案内のサルタヒコノミコトと天降りする。ニニギは、朝日が正面からさし、夕日が輝く日向の地に大きな家を建てて住むことにする。（ここからが日向神話の始まりである。）

●天孫降臨は、「筑紫の日向の高千穂のくしふる峰」とされているが、宮崎県内では北部の高千穂町と南部の宮崎県と鹿児島県にまたがる高千穂峰が、その地と伝えられる。高千穂町には槌触（くしふる）神社がある。神社周辺には、天孫降臨後、神々が遥拝した場所といわれる「高天原」や、降臨の際にこの地に水種を移されたと伝えられる天真名井（あまのまない）もある。神社も含め、この一帯は森に囲まれており、スピリチュアルな雰囲気に満ちている。

●日向風土記では「日向の高千穂の二上山の峯」とされる。昔は二上山全体がご神体とされていたが、後に、麓の高千穂町押方に二上神社が、五ヶ瀬町宮ノ原に三ケ所神社が建立され、イザナギ、イザナミを祀っている。

●南の高千穂峰の山頂には、ニニギが降臨したときに突き立てたとされる、青銅製の天逆鉾が立っている（坂本龍馬が新婚旅行で登山し、この鉾を引き抜いたとの逸話も有名である）。山麓の鹿児島県側には霧島神宮があり、ニニギを主祭神として祀っている。こちらの神社は旧官幣大社で広大な敷地を持ち、社殿や老木が立派で見応えがある。日南海岸きらめきラインからはそう遠くないので、周遊コースに取り入れてみたい。

●なお、宮崎県高千穂町の高千穂神社は、高千穂郷八十八社の総社で、主祭神は、高千穂皇神（たかちほすめがみ）と二之御殿の十社大明神である。高千穂皇神は日向三代と呼ばれる皇祖神とその配偶神で、ニニギとサクヤヒメ、ヒコホホデ（山幸）とトヨタマヒメ、ウガヤフキアエズとタマヨリヒメの総称で、十社大明神は神武天皇の一族神の総称である。高千穂神社の参道から境内は夫婦杉など多くの杉の巨木が並んでおり、また社殿は古く大きく、神秘的な雰囲気を感じることができるだろう。

〈コノハナサクヤヒメとニニギノミコト〉

ある日、ニニギは美しいコノハナサクヤヒメに出会う。コノハナサクヤヒメの父であるオオヤマツミノミコトはコノハナサクヤヒメとイワナガヒメをニニギに送る。しかし、ニニギは容姿の劣るイワナガヒメを返し、コノハナサクヤヒメと一夜の契りを結ぶ。一夜で子ができたことをニニギが疑ったため、コノハナサクヤヒメは戸のない産屋を作り「天孫の子であれば無事に生まれよう」と、産屋に入り火をつける。この中で無事生まれたのがホデリノミコト、ホスセリノミコト、ホオリノミコトである。

●西都市と宮崎市木花地区、そして延岡市愛宕山と可愛岳が、この伝承のゆかりの地である。西都市妻北地区には、二人が出会った逢初川があり、また二人の新居を構えた八尋殿、産屋である無戸室（うつむろ）、産湯をつかった児湯の池がある。また、都萬（つま）神社はコノハナサクヤヒメを主祭神として祀り、古くから縁結びの神として信仰されている。すぐ近辺の西都原古墳群の中にある巨大な二つの古墳、すなわち男狭穂塚（おさほづか）、女狭穂塚（めさほづか）は、ニニギとコノハナサクヤヒメの御陵とも伝えられている。前者は日本最大の帆立貝形古墳で、後者は九州最大の前方後円墳である。これらはいずれも宮内庁陵墓参考地に指定されている。ちなみに西都原古墳群は、三〇〇以上の古墳が集積する日本最大級の古墳群で、三世紀～七世紀前半にかけてのものとされている。広大な大地の中の幾多の古墳が点在する風景は結構な迫力がある。西都原古墳群の周辺には新田原古墳群（新富町）、持田古墳群（高鍋町）、生目古墳群（宮崎市）など、多くの古墳群が存在し、かつてこの地が大きな勢力を持ち、ヤマト政権と繋がっていたことがうかがえる。

●宮崎市木花地区には木花神社があり、ニニギとコノハナサクヤヒメを祀っている。境内には産湯に使ったとされる霊泉桜川や、無戸室の跡がある（西都の都萬神社を流れる川も桜川である）。こちらは西都妻北地区とは異なり、こぢんまりした空間に展開しているが、青島も近いことから比較的気軽に立ち寄れる場所である。

●延岡市愛宕山は古来、笠沙と呼ばれ、この地でニニギとコノハナサクヤヒメが出会い結婚したという伝説がある。延岡市北川町には宮内庁から認定されたニニギの御陵墓参考地である経塚古墳がある。

●イワナガヒメのその後については古事記、日本書紀には記されていない。しかし、西都市銀鏡(しろみ)地区、西米良村小川地区周辺には、イワナガヒメにまつわる話が伝承されている。イワナガヒメはニニギに返された後、鏡を見ては自分が美人に生まれなかったことを嘆いていたが、ある日、その鏡を放り投げてしまう。その鏡が落ちた先が西都市銀鏡地区であり、その鏡が銀鏡神社に祀られている。また、イワナガヒメは失意のあまり家を出て西米良村小川地区にたどり着き、その後、川に身を投げて亡くなったと伝えられる。小川地区にある米良神社にはイワナガヒメとその父であるオオヤマズミノミコトが祀られている。

写真 11　西都原

〈海幸山幸〉

兄のホデリは海のものをとるので海幸彦、弟のホオリは山のものをとるので山幸彦と呼ばれる。ある日、山幸彦は兄の海幸彦に頼んで互いの道具を取り替えることを提案する。しかし、山幸彦は漁に慣れないため釣り針を魚にとられなくしてしまう。海幸彦はそれを断固として許さない。困った山幸彦が海辺で泣いていると、シオツチノカミが海神宮（ワタツミノミヤ）に行くように言う。

山幸彦は海神宮に行き、そこでワタツミノカミの娘トヨタマヒメと結ばれて三年間を幸せに暮らす。そしてワタツミに相談し、鯛ののどに引っかかっていた釣り針を手に入れる。山幸彦はこの釣り針と潮を操ることができる二つの不思議な玉を受け取り、陸に戻る。

山幸彦が呪文を唱えて釣り針を海幸彦に返すと、海幸彦は次第に貧しくなり、最後には山幸彦に攻め込んでくる。山幸彦は不思議な玉を使って海幸彦を溺れさせ、服従させる。

●海神宮は青島の沖にあったとされ、山幸彦が海神宮から帰ってきた際、青島にたどり着き住まれた場所に青島神社がある。神社には山幸彦とその妻であるトヨタマヒメが祀られており、縁結び・安産・航海安全の神として古くから親しまれている。神社の境内には先述したように亜熱帯の植物が繁茂しており、神聖でありながらどこか明るい雰囲気がある。ちなみに、毎年一月の成人の日には、村人が着物を着る暇もなく海に飛び込んで山幸彦を出迎えたという故事にちなんだ「裸参り」の祭が行われる。多くの老若男女が列をなして参道を抜け、真冬の冷たい海に入って禊ぎを行い、そのまま神社に参拝する。この祭りには事前に申し込めば誰でも参加できる。もちろん見るだけでも十分に楽しめる。

●戦いの勝者である山幸彦を祀る神社は数多いが、敗者である海幸彦を主祭神とする神社は全国にただ一社しかない。それが日南市北郷町にある潮嶽（うしおだけ）神社である。負けた海幸彦が船で逃げ、たどり着いた場所がこの地とされる。海からは遠く、かなり奥に入り込んだ場所の山際にひっそりとたたずんでいる。この地区の人々は、逃げてきた海幸彦を温かく迎えたとの伝承があるが、今でも伝承に因んで縫い針の貸借がタブーとされている。神話が千年を超えて生活に根付いているのである。

〈トヨタマヒメの出産〉

山幸彦のもとに、身重のトヨタマヒメが海から現れる。山幸彦は急いで洞窟の中に産屋を建てる。トヨタマヒメは「出産中に決して中を見ないように」と言ったが、山幸彦は産屋を覗き、トヨタマヒメの本当の姿であるワニ（サメ）を見てしまう。生まれた子はウガヤフキアエズノミコトである。トヨタマヒメは本当の姿を見られたことを悲しみ、子を残して海に帰ってしまう。

●日南市の鵜戸神宮は、この産屋があった洞窟に建てられたと伝えられる。奇岩が連なる海岸壁の参道を下っていくと、海にその入り口を向けた大きな洞窟がある。洞窟の暗がりの中にはあざやかな朱塗りの神宮があり、ウガヤフキアエズノミコトを主祭神として祀る。洞窟の中には、トヨタマヒメが海に帰る際に、自分の乳房を引きちぎり張りつけたと言われる「お乳岩」がある。また、洞窟の前の海には「亀石」と呼ばれる石があり、参拝客は運玉を投げ、運を占う。この亀石は、トヨタマヒメが乗ってきた亀であるが、ヒメが急に海に帰ったことを知らずに待ち続け、石になったものと伝えられる。

なお、この神宮は八世紀より仁王護国寺として神仏習合であったため、神宮の建物には寺院建築の面影があり、近辺には、磨崖仏や別当墓地など寺ゆかりの史跡も多い。

〈タマヨリヒメとウガヤフキアエズ〉

トヨタマヒメは子供のことを心配し、妹のタマヨリヒメを山幸のもとに送り乳母と

写真 12　青島裸参り

写真 13　青島神社本殿

する。ウガヤフキアエズはタマヨリヒメと結婚し四人の子供をもうけるが、その末弟がカムヤマトイワレヒコノミコト（後の神武天皇）である。

●カムヤマトイワレヒコに関連する場所は九州内に多くあるが、県内では特に高原町に集中している。すなわち、生誕地とされる皇子原や狭野神社、生誕の際に体を祓い清めた祓原・祓川、そして誕生の際、タマヨリヒメが諸物を洗い清めた場所である血捨之木、そして父ウガヤフキアエズを共に皇居である宮の宇都など、ゆかりの地のオンパレードである。

●日南市の宮浦神社はタマヨリヒメの住居跡に立つと伝えられ、近所には玉依姫陵もある。

〈神武東征〉

カムヤマトイワレヒコは一五才で皇太子となりアヒラツヒメノミコトと結婚する。そして四五才になったとき、シオツチから「ここより東の方に良い土地がある」と提案され、大勢の友を率いて美々津から船出する。この後、カムヤマトイワレヒコは大和地方を平定し、初代の天皇となった。すなわち神武天皇である。

●カムヤマトイワレヒコは長じて宮崎の宮に向かうが、その前に、日南市駒宮神社の地でアヒラツヒメを妻に迎えて過ごしたと伝えられている。日南市油津にある吾平津神社は、アヒラツヒメを主祭神とし、通称「乙姫神社」と呼ばれる。アヒラツヒメは神武天皇の東征には同行せず、この地に残った。

●宮崎市宮崎神宮は、カムヤマトイワレヒコが東征以前に宮を営んだ地とされる。現在は宮崎市の市街地の中に取り囲まれているが、社殿の周辺には大きくうっそうとした森があり、周囲の喧噪からは全く隔絶した静寂な雰囲気がある。神宮のすぐ近所には、東征するまでの皇居跡と伝えられる皇宮屋もある。

●日向市美々津の立磐神社は、カムヤマトイワレヒコが東征の際に戦勝と海上安全を祈願した場所にあると伝えられる。境内には、船出の際に腰掛けていたという「お腰掛け岩」が祀られている。境内は耳川の河口で水際が近く、比較的伸びやかな雰囲気を持っている。ちなみに、昭和一七年に建立された「日本海軍発祥の地」の記念碑も境内にある。

**コラム　海幸山幸神話の意味**

海幸山幸の神話には、いろいろな意味が込められていると言われている。海神宮は竜宮城でもある。この種の話は南太平洋の国々でも見られ、神話の原型が共有されていることはよく知られている。そもそも海幸・山幸の争いは、海を支配していた民族に山を支配していた民族が勝利した話である。山を支配していた民族が海神の娘と結婚し、かつ潮を操作できる不思議な二つの玉を手に入れたことは、陸と海を制する技術（水利や航海などの技術）を得たことを意味しており、それによって国の支配者となったことを示すと言われる。ちなみに海幸は、大和朝廷に服従した隼人族と考えられている。日本書紀には隼人の声は犬の遠ぼえに似ているとも書かれているが、潮嶽神社には初宮詣にあたって額に「犬」の字を書くという習俗がある。

写真 14　鵜戸神宮

〈各地に伝えられる神楽〉

宮崎県内には日向神話にゆかりある地域が多くあるが、同時に、県内各地では二百以上の神楽が地域の人々によって脈々と引き継がれている。神楽には、日向神話に関わる神様だけでなく、その土地に固有の神様も多く登場し、それぞれの地域で個性豊かな舞が奉納される。全国的には高千穂町の夜神楽が有名であるが、日南海岸きらめきラインのエリア内でも多くの神楽があり、代表的なものとしては、宮崎市には生目里神楽、村角高屋神社神楽、野島神楽、船引神楽が、日南市北郷町には潮嶽神楽がある。宮崎市や日南市の神楽は、作神楽とよばれる、主に春の日中に舞われるものが多い。

神庭（こうにわ）と呼ばれる神楽を舞う舞台のしつらえや、衣装、そして古くから伝わる神楽面（面様：おもてさま）、舞の構成やお囃子は、地域によってかなり異なっており、それぞれの地で味わい深いものがある。神楽を鑑賞すれば、神楽が舞手だけでなく裏方も含め地区の人々によって支えられていることもわかるだろう。「神話と神楽と共に生きる」ことが、それぞれの地で継承されてきた地域文化なのである。

## 3　近世以降の繁栄を感じられる歴史の道

〈江戸時代の面影を残す飫肥の城下町〉

宮崎県はその地勢上の制約からか、奈良・平安時代以降、歴史の中で強大な勢力が形成されたことはない。江戸時代においても小藩分立で、大規模な町は形成されなかった。このため、奈良・平安時代から江戸期までの史跡は多くない。日南海岸きらめきラインのエリアの中では、日南市飫肥のみがまとまった歴史的町並みを残している。

飫肥藩は鎌倉時代に伊東氏が地頭として下向したことに始まる。伊東氏はその後、島津との戦いに敗れるが、秀吉の九州征伐によって領地を回復した。その後の関ヶ原の戦いを経て、伊東氏は外様大名として江戸時代を通じて飫肥藩を治めた。飫肥のまちはその城下町で、飫肥城跡とその周辺の武家屋敷地区で構成される。城および武家屋敷周辺地区は昭和五二年に重要伝統的建造物群保存地区に指定され、江戸時代のまちのたたずまいを残している。

飫肥地区内の見所については、ガイドブックや町歩きマップ等に十分に紹介されているので、ここでは飫肥の町の歩き方・楽しみ方のコツについて幾つか紹介しておこう。

●飫肥城観光駐車場からスタート

飫肥城大手門のすぐ近くに飫肥城観光駐車場がある。この駐車場はかなり大きく、また観光バスの駐車スペースも十分にある。さらに飫肥の重要伝統的建造物群保存地区の中心部に位置するため、まち歩きの拠点とできる。駐車場を出るとすぐに飫肥城に通じる大手門通り、飫肥城大手門から東に延びる武家屋敷通りには、見所が集中している。飫肥城はもちろんであるが、藩主の住まいであった豫章館、ポーツマス条約締結に活躍した小村寿太郎の記念館（国際交流センター小村記念館）等が歩いてすぐのところに集中している。

なお、駐車場の敷地内には観光案内所があり、無料地図や観光施設の入場券もここで入手でき、レンタサイクルもある。まちを隅々までゆっくり見て回るのであれば、その利用がお勧めである。

●ボランティアガイドさんとともに巡る

観光案内所には予約制のボランティアガイドさんがおられ、ここで合流する。予約は一週間前までなので注意されたい。ガイドさん達はさすがに博識で、ガイドブックに載っていないようなことも面白く教えてくれる。

●飫肥城下町「食べあるき・町あるきＭＡＰ」を利用しよう

飫肥の町はそれほど大きくないこともあって、ごく短時間の散策で次の目的地に移動する観光客は多いが、実際は丁寧にゆっくり歩けばいろいろな見所があるし、町の中にはおいしいものを出す店も多い。これらを存分に堪能したい方には、「食べあるき・町あるきＭＡＰ」を駐車場内にあるマップ販売所で購入されたい。マ

写真 15　野島神楽

写真 16　小川神楽

地図 4　日南市

ップには五枚の引換券がついており、マップに載っているお店に行けば、食べ物や記念品などの商品と交換できる。アイスクリームやお団子、そして飫肥名物のおび天や厚焼（厚焼き卵）などをはしごして、そのお店の方とも語らいながら、ゆっくりと飫肥の町を歩いてみたい。なお、このマップには、食べあるき・町あるき券付きのマップと、それに加え有料施設の入館券が付いたものの二種類がある。

なお、この「食べあるき・町あるき」事業は、民間団体である飫肥城下町保存会が地元の商店会と連携して平成二一年から実施しているもので、飫肥の観光地としての魅力を格段にアップさせ、全国的な注目を集めた。この結果、平成二五年度国土交通省「手づくり郷土賞」（大賞部門）を受賞している。

●隠れた見所

先述のように、飫肥の町の主要な見所は、本町商人通り（国道二二二号）より北側の、飫肥城およびその周辺の町並みに集中している。

この地区を歩く際、屋敷や展示物を見るだけではもったいない。武家屋敷は石垣で覆われているが、その石の積み方にも注意を向けてみよう。すなわち、石の積み方はその家の格や時代によって変化し、「野石積」「玉石積」「切石整層積」「整層乱積」「谷積」「亀甲積」「切石乱積」「飫肥積」などがある。「飫肥積」は切石乱積の一種で、目地が半円形となる飫肥独特の積み方である。実は飫肥の城下町は「わが国に見られる積み型をほぼ網羅して見ることができる」「ひとつづきの石垣がただ一つの積方だけでき上がっている例は多くない。多くがいくつかの積方を混在させてできている。」ことが、専門的な報告書の中で指摘されている。少しマニアックであるが、石垣を巡る旅も面白い。

もう一つの隠れた見所は、国道二二二号の南側地区である。あまり観光客が訪れることは少ないが、こちらにも重要伝統的建造物群保存地区は広がっている。ここは下級武士の居住区である。下級武士は庭に畑を持ち耕作したため、「比較的広々とした敷地に大きくはない家」が連なる町並みとなっており、静かでのどかな雰囲気を持つ。リピーターの方は、このエリアのファンが多いのではなかろうか。

地図５　飫肥

写真 17　飫肥町並み

〈レトロな町並みを体験できる油津地区〉

油津地区の見所は、油津港につながる堀川運河と、その周辺の油津のまちである。

油津は、日向神話に登場するアヒラツヒメをその名の起源とするとされ、古くから栄えていたことがうかがえる。油津はまた「油を流したような穏やかな港」でもあり、天然の良港として日明貿易や琉球との交易の拠点となっていた。

●飫肥杉の集積拠点としての油津港・堀川運河

江戸時代においては貿易が禁止された上に領域に耕地が少ないこともあって、飫肥藩は当初、困窮していたが、豊富な山林資源である飫肥杉により財政を立て直した。飫肥杉は温暖多湿な地で成長するため、成長が早い上に柔らかく加工性に富み、また油分が多く腐りにくいために造船材（弁甲材）に適している。

貞享三年（一六八六年）に堀川運河が完成し、広渡川河口近くから乙姫神社（吾平津神社）の前を通り、油津港が繋がった。それ以前は、木材は飫肥山中から酒谷川・広渡川を筏で流し、一旦海に出てから油津港に入れていたため、天候等の影響を受けていたが、以降は安定して木材を港に搬入できるようになった。さらに、明和二年（一七六五年）以降は、山間部で大規模な植林がなされ、飫肥藩および油津のまちは飫肥杉の生産により栄えることになる。江戸時代後期には、瀬戸内海の漁船から沖縄のサバニまで、全国各地に弁甲材を供給したのである。

飫肥杉による繁栄はその後、明治、大正の時代を経て、昭和四〇年ごろまで続く。その頃から漁船はグラスファイバーやＦＲＰなどで作られるようになり、造船材としての需要は急激に落ち込むことになった。さらに建材としての需要も高度成長期までは大きかったが、以降、木材の輸入自由化による木材価格の下落、新建材の登場による需要の縮小等があり、飫肥杉が地域の経済を支える時代は終わった。これにより、運河はその役割を一旦終えることとなる。

●マグロの漁業基地として栄えた油津港

明治期には、油津港近辺の海でブリの養殖が始まっている。油津港は漁業基地として次第に発展し、大正六年(一九一七年)には農商務省によって漁港として指定される。このとき全国で指定されたのは七カ所で、九州では油津港のみであった。この指定を受け、油津港は急速に整備されていく。

漁業の繁栄を支えたのはマグロであった。大正に入って始まった延縄漁の漁獲は増え続け、昭和に入るとクロマグロの水揚げが急増する。宮崎県のみならず、大分、鹿児島、高知県から多くの漁船が油津に入港し、日本のマグロ相場は油津によって決まるとさえ言われた。世に言う「マグロ景気」である。マグロの豊漁は昭和一六年頃まで続いたが、戦争が始まると船を出すことも難しくなり、マグロ景気は終焉した。戦後は、カツオ、マグロの遠洋漁業が盛んになり、この港を拠点とした漁船が南洋から東北地方に移動しながら操業している。

●昭和の名残を残すレトロな油津地区

現在の油津のまちはマグロ景気の面影を色濃く残すもので、登録文化財も多い。大きな駐車場は地区内にはないので、油津港の駐車場か堀川運河上流の「夢広場」の駐車場に車を停め、歩かれることをお勧めする。この地区は昔ながらの漁業集落であるため地区内の道路はとても狭い。普通車のすれ違いも困難な場所が多いため、観光客は歩いて入る方が安心である。油津の散策マップは、堀川橋近辺の「堀川資料館」、あるいは杉村金物店の向かいの「横店（しゃべりば）」にある。

ここで、油津地区の歩き方の隠れた楽しみ方を一つ。まちの中の細い路地には、その路地の名前（通り名）が表示されているところがある。油津港から真っ直ぐまちに入る通りは「マグロ通り」と呼ばれている。かつて、マグロを水揚げして大金を手にした漁師さんがここを闊歩していたことからこの呼び名が付いたとのこと。このマグ

地図 6　油津

写真 18　油津の町並み

写真 19　油津港の昔の賑わい

ロ通りと垂直に交わるのは「わかば通り」。これは、ＮＨＫの朝の連続テレビ小説「わかば」の舞台となった造り酒屋の屋敷があることから。

隠れた楽しみ方をもう一つ。木造三階建ての杉村金物店は登録文化財であり、多くの観光客が訪れているが、その道路の反対側に「呉服屋横店」またの名を「しゃべり場」がある。横店は創業明治二三年という由緒ある呉服屋だが、現在、店主の河野さんは観光客が気軽に訪れてお話しできる場所として店を開放されている。店内には散策マップのほか、賑やかだった頃の油津の風景写真が多く展示され、油津に関わる資料も多く置かれている。写真や資料を見ながら河野さんに油津の昔話を聞いてみよう。穏やかでにこやかに語られる河野さんと共に過ごす時間は実に贅沢である。

●新たな時代に向けて再生した堀川運河

先述のように、堀川運河が最初に開削されたのは江戸時代初期であったが、石積み護岸に改良されたのは明治、大正、昭和の時代である。そして戦後、コンクリートにより石積み護岸が覆われたところもあった。

昭和四〇年頃から、船材のＦＲＰ、プラスティック化によって飫肥杉需要が低下したため、堀川運河の役割は縮小した。この結果、運河は次第に埋め立てられ、さらに生活排水の流入による水質悪化の問題も大きくなった。このため昭和五〇年前後に、一旦は埋め立てが決定されている。しかし、昭和六三年になって、日南市民の有志が「堀川運河を考える会」を結成し、その熱心な活動によって埋め立て計画は廃止された。とはいえ、どのように保存するか、その具体的アクションが起こるまでにはもう少し時間を要した。

そして平成一四年から堀川運河整備方針が全面的に見直され、初期の石積み護岸を可能な限り保存活用し、整備することになった。現在、油津大橋周辺から上流側の運河は、この事業によって再整備されたものである。整備に当たってはまず、発掘調査を行い、往事の姿をできる限り露出させ、復元している。その上で、遊歩道やボードデッキを整備し、屋根付きの木橋で公園とつなぐことで、回遊性を高めた。運河沿いの手すりや街灯も、レトロな町並みにマッチするように工夫された。堀川運河は、文字通り「再生」し、市民に憩いの場を提供する空間となった。特に夏の夕涼みの時間は最高である。木橋中央にあるベンチに座り、穏やかな風を感じながらひとときを過ごしてみたい。

写真 20　油津：通常時の運河の風景

写真 21　油津商店街の今の賑わい

●がんばれ油津商店街

昭和四〇年代までは油津のまちは活気に満ちあふれていたが、飫肥杉の需要減、遠洋漁業の低迷、さらには都市の郊外化の進展もあり、衰退が進んだ。地方都市中心街のシャッター街化は、油津のまちでも深刻である。

もともと堀川運河の整備も単に運河の美化のみを意図したわけではなく、観光客を呼び込みながら、それを町の活性化につなげていこうとするものであった。とはいえ、そのまちが行きたくなるような場所でなければ何も始まらない。

市では平成二四年に国から中心市街地活性化基本計画の認定を受け、本格的にその活性化に取り組み始めた。この取り組みの中で特に全国の注目を浴びたのは、委託料月額九〇万円の活性化請負人「テナントミックスサポートマネージャー」の全国公募であった。公開プレゼンテーションによる選考会には市民一五〇名以上が傍聴し、東京のテレビ局も取材に来るほどの盛況であった。

現在は、このサポートマネージャーを中心に、油津のまちの再構成が進行中である。空き地を利用した子供菜園、歌合戦やボーリング大会など、自由な発想で賑わいを呼び込みながら、

それを店舗の進出につなげようとする事業がなされている。

そして今、賑やかだった頃に営業していた喫茶店を再生した「Ａｂｕｒａｔｓｕ Ｃｏｆｆｅ」や、空き店舗を改装してフリースペースと複数の食堂が出店した「ｙｏｔｔｅｎ」、さらには複数のコンテナで各種の店舗が展開する「アブラツガーデン」など、商店街には着実な変化が起こっている。まちづくりに興味のある方は是非、油津を訪れてその変化を見て欲しい。

〈米づくり拡大の努力を物語る坂元棚田〉

日南市飫肥から都城市に向かい、国道二二二号を約二〇分移動すると、「坂元棚田」がある。「日本の棚田百選」にも選ばれて、平成二五年には「酒谷の坂元棚田及び農山村景観」として重要文化的景観の選定を受けている。

●棚田整備の経緯

棚田が開かれた斜面は、かつて屋根を葺く茅（カヤ）を刈る「茅場」であった。大正期ごろには、人口の急激な増加に伴う食糧増産の必要性が強く認識されるようになり、昭和三年に坂元耕地整備組合が設立され工事を開始、そして昭和八年に完成した。棚田は日南市最高峰である小松山の南斜面標高二〇〇ｍの麓に広がり、約百枚、五ヘクタールに及ぶ。

この坂元棚田を少し遠くから見ると、他の一般的な棚田とかなり違った印象を受けるだろう。すなわち、水田がほぼ長方形をしているため畦が直線的で、それが階段状に立ち上がって幾何学的な姿をしている。これは、馬耕農業を前提とした設計を行ったためとのこと。坂元棚田より以前に切り開かれた棚田は、技術的・農耕手法的な制約から等高線に沿う細長い棚田が多いが、坂元棚田の姿形は昭和初期の時代なりの形をしていると言えよう。

「米の生産」への住民の執念と、その当時の土木技術や農耕技術の水準、そして事業を推進する制度の仕組み等が相まって棚田が成立したことを、その風景は物語る。

●新たな時代における棚田保全の仕組み

農山村地域はどこも共通であるが、高齢化や過疎化による担い手と後継者の不足に悩んでおり、坂元地区もその例外ではない。特に棚田での農耕と維持管理は平場の農

**コラム　飫肥杉デザイン**

宮崎県、そして特に日南市は現在でもすばらしい杉山が多く残っており、これは大きな財産である。一方で、船材としての需要は無くなり、また建築材は安価な輸入木材との競争があり、材価は低迷を続け、林業は産業として厳しい状況に置かれている。杉の販路を拡大することや、新たな付加価値をつけた商品を開発することで、林業を活性化することが、日南市の経済を活性化することに繋がる。

このような背景から、地元の木工・建具・製材・林業や、木材関係者以外のメンバー、そしてデザイナーが、日南市の協力を得て開始したのが、「ｏｂｉｓｕｇｉ　ｄｅｓｉｇｎ」ブランドの商品開発である。椅子やテーブル、小物入れや雑貨など、飫肥杉が洗練されたデザインを身にまとい、商品化された。

飫肥城前の武家屋敷通りには、そのアンテナショップ「オビダラリー」がある。杉の香りに包まれ、柔らかい表情をもつ品が、洗練された形で展示・販売されている。飫肥を訪れた際には是非立ち寄ってみて欲しい。

**コラム　油津の市民力**

堀川運河が埋め立ての危機に瀕したときに立ち上がったのは、市民有志であった。昭和六三年に結成された「堀川運河を考える会」は、住民にアンケートを実施するとともに、「堀川運河まつり」を開催し、堀川運河の価値を見直す運動を展開した。これを起点として運河保存の機運は高まっていった。

その後、「河野家の赤レンガ倉庫と主屋」が、平成九年に競売にかけられそうになった際、市民組織である「油津みなと街づくり委員会」や「ＮＩＣ２１（日南市産業活性化協議会）」のメンバーが中心となって、自分たちの資金でこれを買い取った。以降、彼らは赤レンガ館を活用しながら、まちなかでのイベントや観光情報の整備を仕掛けていく。

このような動きを中心として担った市民がその後のまちづくりのリーダーとなり、その後の運河再整備事業、中心市街地活性化事業や景観形成・歴史的まちづくり事業を支えている。「油津の市民力」は、かつて賑わっていた時代に育った多くの人の心意気であり、ポテンシャルなのである。

地に比べ圧倒的に効率が悪い。棚田を活用し維持管理して後世に残すためには、新たな工夫が必要である。

坂元棚田は平成一七年から「棚田オーナー制度」を導入している。これは、域外に住む一般市民が年会費を払って坂元棚田のオーナーになるもので、普段は地元の人が田の管理を行うが、休日にはオーナーが自分の田や畑に来て、地元の人とのふれあいながら作業に参加する。オーナーは一定量の収穫した米を受け取ることができる。

棚田オーナー制度はもちろん、棚田の維持を目的としたものであるが、交流人口を確保することにも繋がっている。住民と都市部住民が頻繁に交流することは、地域の経済に貢献する側面もあろう。この意味では、オーナー制度は持続可能なむらづくり・コミュニティづくりを補強するシステムになっていると言える。

写真 22　坂元棚田

〈大正期の繁栄を物語る串間市旧吉松家住宅〉

国指定重要文化財である旧吉松家住宅は、串間市役所のすぐ隣にあり、旧志布志街道沿いにある。

吉松氏は、豊臣秀吉の九州征伐に敗れた秋月氏が、甘木から高鍋・串間へ配置替えとなった時、秋月氏に従って串間へ入ったと伝えられる。幕末期に市木川北郷の庄屋となってから、三代にわたり材木商いなどで財を成し、政界にも進出して、地域の政治・経済の牽引役を果たした。

旧吉松家住宅は、その全盛期にあたる大正年間に建築されたもので、堂々とした石塀と表門、当時の繁栄をうかがわせる白土塀土蔵、大きな主屋があり、その空間の大きさと共に、贅をこらした高度な建築技術・建築材料は、目を見張るものがある。現在はどちらかといえば静かなイメージのある串間市ではあるが、旧吉松家住宅はそのイメージをまったく覆す。一見の価値ありである。

なお現在は、串間市が所有・管理しており、一般見学のほか各種イベント、市民活動の場としても活用されている。

## 4　「大地に絵を描く」おもてなしの道

ここまで、日南海岸きらめきラインのテーマ旅の魅力を「南国感あふれる緑と青の道」「神々のドラマが繰り広げられた記紀の道」「近世以降の繁栄を感じられる歴史の道」の三つについて紹介してきた。これらは南国みやざきの自然・歴史の財産であるが、これらが単にばらばらにあるだけでは、現在、多くの人々が想起する「みやざき」や「日南海岸」の強力なイメージは形成できないだろう。そこには、この三つのテーマ、あるいはそれぞれの魅力ある場所をつなぐ（統合してみせる）ストーリーと舞台環境が必要である。それが、「宮崎県観光の父」岩切章太郎翁が提唱され先導された『「大地に絵を描く』おもてなしの道」の「哲学」である。

岩切翁の業績については、自らの著書の他、多くの紹介書籍があるので、詳細はそちらを参照していただきたい。ここでは、我々が今目にする「みやざき」や「日南海岸」の風景が、その哲学によって成立し、引き継がれたものであることを確認したい。

〈広告が規制されてすっきりとし、表情豊かな植栽にあふれる道路〉

宮崎市内と空港、青島方面をつなぐ宮崎南バイパス（国道二二〇号）の風景をよく見てみよう。片側二車線道路の中央分離帯にはワシントニア・パームツリーが等間隔に植えられ、南国感を演出するとともに、道路の進行方向をすっきり示し、広い青空と遠景の風景にアクセントを与える。パームツリーの足もとや道路脇には、色とりどりの花や低木が植えられ、道路のイメージを柔らかくし、親しみを感じる。また、沿道に広告看板がまったくない。このおかげで道路全体がすっきりとし、風景をストレスなく見渡せるのである。

宮崎空港近辺も同様である。他の地域の空港を思い出してみよう。空港近辺には飛行機から見えることを意識した巨大でカラフルな広告物が林立することが多い。しかし宮崎空港の周辺にはそのような看板は見当たらない。空港に降り立ったときの「南国的第一印象」は、ここで決定づけられている。

日南海岸きらめきライン（あるいは宮崎県全域も）を巡る際に、是非、沿道の植栽と広告物を意識して欲しい。多くの道路区間において、宮崎南バイパスや空港近辺と同じような印象を受けるはずである。

このような風景が形成・維持できるのは実は「沿道修景美化条例」と「屋外広告物条例」の成果である。宮崎県沿道修景美化条例は昭和四四年に全国で初めて制定され、その指定地区では一定の行為の制限に加え、行政団体による積極的な植栽の推進がな

される。また、屋外広告物条例も他県に比べると適用エリアが広く、かつ厳しい規制が掛けられ運用されている。

このような道路美化の動きは、岩切章太郎翁が社長を務める宮崎交通（株）が観光事業として日南海岸沿いの道路にフェニックスを植栽し、ロードパーク構想を推進していったことに端を発している。その後、宮崎県も道路美化を積極的に推進する政策をとり、そして県民意識が高まった結果として、他県より厳しい条例により沿道景観を維持することが可能となったのである。

〈人の手を加えて輝く美しい自然の風景〉

堀切峠の風景を思い出してみよう。海岸線に沿う道路が山手に曲がり込むその峠に、青空をバックにした椰子の木が数本。眼下の青い海と共に見える。宮崎観光の象徴的構図である。あるいは、国道二二〇号から堀切峠に登っていく谷筋の斜面は、山桜がアクセントのように散らばっている。さらに日南海岸の断崖をぬうように走る国道二二〇号を見てみよう。黄色のコバナセンナが山側の斜面を埋める。青島バイパス沿道には色とりどりの花が咲いている。

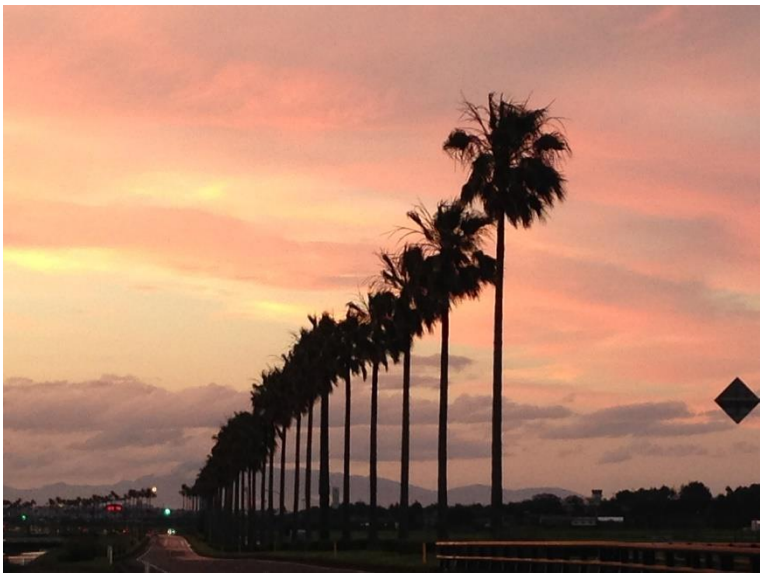


写真 23　宮崎南バイパスのパームツリーが並ぶ写真

写真 24　コバノセンナ

これらの椰子の木、山桜、色とりどりの花やコバノセンナは、すべて人の手によって植えられたものである。すなわち、これらの風景は人の手でつくり出したものであって、これが岩切章太郎翁の言われる「人工の美」なのである。「人工の美」は、「宮崎の自然のなかに美しさを見つけ、その美しさをすべての人に気づいてもらうように手を加え、植え足し、切り出しの手法で観光地の整備・創出すること」で、花の植栽もその一環である。

日南海岸一帯は特に全国初の「ロードパーク」として整備されたこともあって、「人工の美」を引き継ぐ風景が多い。上述の「沿道修景美化条例」「屋外広告物条例」も効いている。このような道路は日南海岸きらめきラインだけでなく、宮崎県内の他の地域についても多くある。風景を見ながらのドライブの楽しさを人工的に演出することが、岩切章太郎翁の仕事であった。

〈新たな時代における「おもてなしの道」づくり〉

「おもてなしの道づくり」は、岩切章太郎翁が社長を務めた宮崎交通（株）という私企業による風景づくりから開始され、その後、宮崎県の観光政策として展開された。宮崎交通は、種々の木や花々を沿道に植栽しつづけ、県、国、市町村も沿道修景美化条例にもとづいて、それぞれに道路の修景を行ってきた。しかし時代は変わり、宮崎交通は平成一七年に産業再生機構の支援を受け、大幅なコスト削減を迫られることになった。宮崎県を始めとした地方自治体についても低経済成長時代においてはコスト削減を迫られ、今までのような修景を継続することはできなくなった。すなわち、新しい修景の方法やシステムが必要になっている。

この際、キーポイントとなるのが「市民力」である。これまでは企業と行政が担ってきた風景づくりを市民自らがボランティア的に担うことで、全体のコスト削減に加え、よりきめ細やかな工夫ができるはずである。ここに新たな時代の「官民協働」が求められる。

宮崎県内では「道守みやざき会議」が平成一六年に発足し、地元住民、ＮＰＯや企業が積極的に沿道の植栽や清掃活動を行い沿道の風景を形成するシステムが整った。現在の日南海岸きらめきラインのエリアでは、道守みやざき中部ブロックと南部ブロックの方々が以来ずっと活躍されてきている。

そして、平成一八年には日本風景街道「日南海岸きらめきライン」が発足する。日本風景街道は、「自然、歴史、文化、

風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりの支援を通じて訪れる人と迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指す」ことを目的としており、風景づくりと観光や交流の促進を射程におくものである。

なお、日南海岸きらめきラインは三八団体（ボランティア二四団体、町内会二団体、観光関係者三団体、道の駅三駅、その他任意六団体）で発足したが、この団体のほとんどは道守宮崎会議のメンバーでもある。この地域の方々は、よりよい郷土や風景を維持し、次世代に引き継いでいきたいという想いを実現するために、むしろ「道守」や「風景街道」といった制度を戦術的に活用している。この郷土や風景に対する想いこそ「風景まちづくりの文化」で、この文化こそ岩切章太郎翁から始まった「みやざきの風景づくり」が長い時間をかけて市民に浸透し、結実したものなのである。

以下では、市民による活動により支えられる代表的な三つの風景を紹介する。

●ジャカランダのまちづくり

先のコラムでも触れたが、日南市南郷町では、ジャカランダは道の駅なんごう周辺のジャカランダの群生林のほか、町内のいたる所にジャカランダを植栽し、まちを紫色で彩る「ジャカランダのまちづくり」が平成二三年から進行中である。花の見頃である五月下旬から六月中下旬にかけては「ジャカランダまつり」が道の駅なんごうを拠点に開催され、多くの訪問客で賑わう。

写真 25　あじさいロード

ジャカランダのまちづくりを開始し、中心となって支えているのは「道の駅なんごう」を管理する「ＮＰＯ法人ハートピアなんごう」であるが、この団体は日南海岸きらめきライン推進協議会のメンバーであり、道守でもある。ジャカランダは冬の寒さ対策など手がかかる植物であるが、同団体のメンバーは丁寧にその作業を行っている。また植樹に際しては、老若男女が参加できるイベントとして開催し、市民の手によるまちづくりの推進に努めている。ジャカランダの花であふれるまちは、市民の手で支えられている。

●あじさいロード

日南市小布瀬と串間市大平間を結ぶ道路では、沿道の約六ｋｍにわたって多くのあじさいが植えられており、「あじさいロード」と呼ばれている。この区間のあじさいは高さもあるのが特徴で、道路が色とりどりのあじさいの壁で囲われているように感じ、今では知る人ぞ知る観光スポットになった。

このあじさいは、おもに地元の「広野歩こう会」の方々がずっと植栽され、維持管理されている。同会では、あじさいの他にも桜、彼岸花、紅葉などの手入れをされており、この道路を通過する人の心に大きな印象を与えている。この広野歩こう会も、道守かつ風景街道の構成団体である。

●日南海岸沿い国道二二〇号の海の風景

亜熱帯性植物が自生できるほど暖かな日南海岸きらめきラインのエリアは、植物の成長が非常に早く、それが景観を阻害する要因となっている。特に日南海岸に沿って走る国道二二〇号やＪＲ日南線からは、海側に繁茂するダンチクによって海への視線を遮られ、せっかくの風景を楽しめないという状態になりやすい。

そこで、道守であり風景街道のメンバーでもある「鵜戸山をかっとしやる会」は国や県と協議しながら、平成二六年からボランティアでダンチク伐採に乗り出した。海側の道路沿いは傾斜がきつく危険な場所もあるため、全てを市民パワーで伐採することは難しいが、ボランティアでの実践を重ねながら、新たな官民協働の風景管理のあり方を探っているところである。

## 5　特色ある三つの道の駅

日南海岸きらめきラインのエリア内には三つの道の駅がある。宮崎市の堀切峠直近の「道の駅フェニックス」、日南市南郷町の「道の駅なんごう」、そして日南市坂元棚田の近くにある「道の駅酒谷」である。ここでは、その特徴を紹介しておこう。

〈道の駅フェニックス〉

日南海岸のドライブコースのハイライトの一つで、宮崎市南部に位置する。道の駅の前の道路をわたるとすぐにボードデッキの展望台があり、高い位置から青く広大な海と鬼の洗濯板を見渡せる。また、山側には散策路が整備され、様々な南国風の植栽を楽しむことができる。堀切峠は道の駅から道路沿いに整備された歩道を通って往復することが可能である。本道の駅の駐車場は大きいので、マイカーのみならず、観光バス、そしてバイクツーリングやサイクリングの方々も安心して利用できる。

店舗機能としては、地域の海産・農産物や加工品の販売の他、レストランもあり、またマンゴーなどのソフトクリームは観光客に人気である。

〈道の駅なんごう〉

この道の駅からの海の眺めもすばらしい。眼下には海が広がり、目の前には緑豊かな半島と島々が展開する。道の駅近辺には亜熱帯性の植物が繁茂し、ジャカランダの森もある。さらに季節ごと色とりどりの花々で飾られる。近辺には宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場もあり、道の駅の周辺での散策を楽しむことができる。この道の駅のもう一つの特徴は多くのイベントが開催されていることである。ジャカランダまつりはその代表であるが、コンサートからカレー早食い大会まで、様々な楽しい企画が目白押しである。

店舗機能としては、地域の海産・農産物や加工品の販売のほか、食堂もあり、マグロや伊勢エビを始めとした海鮮メニューが多い。ソフトクリームも人気である。

〈道の駅酒谷〉

美しい飫肥杉の山に囲まれ、近くには日南ダムの湖面が見える。坂元棚田もこの駅から近い。大きな茅葺き屋根の建物と敷地入り口にある大きな木造のゲートが目印である。この道の駅の一番の特徴は、行政や指定管理者ではなく、地元住民自らが「酒谷ふるさと特産品センター管理運営協議会」を立ち上げて駅を運営しており、さらに従業員約二〇人が全て酒谷地区の住民であることである。平成二三年には、地域住民の出資により株式会社化された。

ここで販売される農産物等は酒谷地区で生産されたものがほとんどである。店内には、商品やイベント等の情報が掲示されているが、これもまた手書きでいい雰囲気を出している。そしてこの駅の名物はよもぎで作った「草だんご」である。新鮮な農産物も常にふんだんに並んでいる。店員さんの雰囲気も朗らかで心安らぐ。

施設の敷地内には遊具施設や広場もあるため、ドライブの休憩がてらここでゆっくりするのも良いだろう。

表１　道の駅

| フェニックス | 県道内海加江田線 | 0985-65-2773 | 宮崎県宮崎市大字内海字三池381-1 |
|---|---|---|---|

○提供エリア及び提供時間　「多目的施設」内　9:00～18:00
○情報提供機器　情報端末　1台
○情報提供内容
［道路情報および近隣の「道の駅」情報］　ルート情報を情報端末で提供
［観光情報］　駅周辺の観光施設情報を案内人、情報端末で提供
［医療情報］　医療情報を情報端末で提供
［他の「道の駅」の情報］　情報端末で提供
［その他情報］　気象情報を情報端末で提供

| 酒谷 | 国道222号 | 0987-26-1051 | 宮崎県日南市大字酒谷甲1840番地4 |
|---|---|---|---|

○提供エリア及び提供時間　「物産館」入口 4月～9月　8:30～18:00、10月～3月　8:30～17:00
○情報提供機器　情報端末　1台、大型画面　1台
○情報提供内容
［道路情報および近隣の「道の駅」情報］　ルート情報を掲示板、案内人、地図・チラシで提供
［観光情報］　駅周辺の観光施設情報を掲示板、案内人、チラシで提供
［医療情報］　医療情報を掲示板で提供
［他の「道の駅」の情報］　なし
［その他情報］　情報端末で提供

| なんごう | 国道448号 | 0987-64-3055 | 宮崎県日南市南郷町大字贄波3220-24 |
|---|---|---|---|

○提供エリア及び提供時間　「交流施設」、「展示・情報コーナー」8:30～17:00
○情報提供機器　情報端末　1台、大型画面　1台
○情報提供内容
［道路情報および近隣の「道の駅」情報］　ルート情報、災害情報を掲示板、案内人、地図・チラシで提供
［観光情報］　駅周辺の観光、宿泊施設情報を案内人、チラシで提供
［医療情報］　医療機関の名称、電話番号、休日の当番医を案内人が提供
［他の「道の駅」の情報］　施設の内容をチラシで提供
［その他情報］　気象情報をテレビで提供

## 四　日南海岸きらめきラインエリアの祭り・ホテル・観光情報など

### 1．宮崎市

●祭りなど

宮崎市のまちなかの代表的な祭りとしては、「宮崎神宮大祭」がある。市民からは「神武さま」と呼ばれ、毎年十月末～十一月初めに開催される。中心市街地の橘通り、高千穂通りは通行止めとなり、大勢の行列が中心市街地を練り歩く。沿道には屋台もならび、多くの人で賑わう。

その他、観光都市「みやざき」では、まちなかが多くの人々で賑わう大きな祭り・イベントがいくつかある。代表的なものとしては、ゴールデンウィーク中の「みやざき国際ストリート音楽祭」。これは宮崎市で、世界的に著名な音楽家を招いて開催される「宮崎国際音楽祭」の一環としてまちなかで開かれるもので、橘通りと高千穂通りを通行止めにして様々なライブが行われる。七月には「まつりえれこっちゃみやざき」。これは、全国で開催される「よさこい祭り」のようなもので、多くの市民

表２　宮崎市の祭りなど

| 祭りなど | 場所 | 開催月 | 問い合わせ先 | |
|---|---|---|---|---|
| 青島神社裸参り | 青島 | 1月 | 青島神社 | 0985-65-1262 |
| 月知梅うめまつり | 月知梅公園 | 2月 | 高岡総合支所地域総務課 | 0985-82-1111 |
| 生目神社大祭 | 生目神社 | 2月 | 生目神社 | 0985-47-8272 |
| 春神楽 | 江田神社,生目神社<br>青島神社,船引神社など | 3月 | 宮崎市観光協会 | 0985-20-8658 |
| 宮崎国際音楽祭 | メディキット県民文化センターなど | 4-5月 | 宮崎国際音楽祭事務局 | 0985-28-3208 |
| 宮崎みなとまつり | 宮崎港 | 5月 | 宮崎市企画政策課 | 0985-21-1711 |
| はなしょうぶまつり | 阿波岐原市民の森 | 5-6月 | 宮崎市公園緑地課 | 0985-21-1814 |
| きよたけ郷土祭り | 岡ノ下公園 | 7月 | きよたけ郷土祭り実行委員会 | 0985-69-5725 |
| 佐土原夏祭り | 上田島本町通り | 7月 | 佐土原小学校区地域づくり協議会 | 0985-74-3471 |
| まつりえれこっちゃみやざき | 橘通りほか | 7月 | まつりえれこっちゃみやざき<br>振興会事務局 | 0985-83-2216 |
| みやざき青島サマーフェスタ | 青島海水浴場,こどものくになど | 7-8月 | 宮崎市観光協会 | 0985-20-8658 |
| みやざきグルメとランタンナイト | フローランテ宮崎 | 8月 | 宮崎市観光協会 | 0985-20-8658 |
| みやざき納涼花火大会 | 宮崎市鶴島大淀河畔 | 8月 | 宮崎商工会議所 | 0985-22-2161 |
| サマーフェスティバルin一ツ瀬 | 一ツ瀬日向大橋河川敷 | 8月 | 佐土原総合支所地域総務課<br>新富町観光協会 | 0985-73-1411<br>0983-33-6029 |
| 田野町太鼓フェスティバル | 田野運動公園多目的広場 | 8月 | 田野総合支所地域総務課 | 0985-86-1111 |
| みやざき青島国際ビールまつり | こどものくに | 8月 | 宮崎市観光協会 | 0985-20-8658 |
| いせえび祭り | 内海港,青島漁港 | 9月 | 宮崎市漁業協同組合 | 0985-65-1011 |
| 宮崎神宮大祭 | 宮崎神宮,宮崎市街地など | 11月 | 宮崎商工会議所 | 0985-22-2161 |

が道路上でパフォーマンスを披露する。このほか、春のフラワーフェスタ、夏の納涼花火大会など、四季折々に様々な祭り・イベントが開催されるので、宮崎を訪れる際にはそれらの情報もチェックしておきたい。

●ホテルなど

宮崎市の中心市街地や宮崎駅周辺には多くのビジネスホテルがある。また、大淀川河畔には老舗の大規模ホテルがあり、一ツ葉海岸、青島地域にもホテル、旅館は多い。青島近辺や国道二百二十号沿いにはペンションのほか、サーファーやバックパッカー用の宿泊施設も多い。

表３　宮崎市のホテルなど

| ホテル・旅館 | 電話 | 住所 |
|---|---|---|
| ホテル浜荘 | 0985-24-3019 | 吾妻町151 |
| ホテル金住 | 0985-25-3455 | 吾妻町66 |
| 宮崎観光ホテル | 0985-27-1212 | 松山1丁目1-1 |
| ひまわり荘 | 0985-24-5285 | 瀬頭2丁目4-5 |
| ビジネス宮崎ロイヤルホテル | 0985-25-5221 | 瀬頭2丁目5-20 |
| ユースホステルサンフラワー宮崎 | 0985-24-5785 | 旭1丁目3-10 |
| エムズホテルクレール宮崎 | 0985-61-8622 | 橘通東1丁目8-6 |
| スーパーホテル宮崎 | 0985-61-9000 | 橘通東2丁目2-6 |
| ホテルエリアワン宮崎 | 0985-22-1002 | 末広1丁目2-21 |
| ホテルセンチュリー宮崎 | 0985-26-5555 | 老松1丁目4-27 |
| レガロホテル宮崎 | 0985-31-6300 | 橘通東2丁目9-18 |
| 旅館 小戸荘 | 0985-23-2092 | 橘通東2丁目9-8 |
| ビジネスホテルやかた | 0985-24-7786 | 末広1丁目4-26 |
| アリストンホテル宮崎 | 0985-23-1333 | 橘通西3丁目1-1 |
| ホテルメリージュ | 0985-26-6666 | 橘通東3丁目1-11 |
| 旅館牧水 | 0985-22-2007 | 広島1丁目8-14 |
| ビジネスホテル鶴富 | 0985-22-3072 | 広島2丁目1-8 |
| ニューウェルシティ宮崎 | 0985-23-3311 | 宮崎駅東1丁目2-8 |
| 東横イン 宮崎駅前 | 0985-32-1045 | 老松2丁目2-31 |
| 宮崎ライオンズホテル | 0985-22-6111 | 高松町4-39 |
| 宮崎ファイブシーズホテル | 0985-35-8807 | 南高松町42-1 |
| アパホテル 宮崎駅橘通 | 0985-20-5500 | 橘通東3丁目4-4 |
| 山水荘むさし | 0985-24-5535 | 広島1丁目4-20 |
| JR九州ホテル宮崎 | 0985-29-8000 | 錦町１-10 |
| ホテルスカイタワー | 0985-31-1111 | 高千穂通2丁目1-26 |
| エアラインホテル | 0985-29-7070 | 橘通西3丁目10-19 |
| ホテルエリアワン宮崎シティ | 0985-20-8020 | 中央通4-1 |
| 東横イン 宮崎中央通 | 0985-38-1045 | 中央通4-14 |
| ホテルブリスベンズ | 0985-32-8888 | 千草町5-7 |
| ホテルマリックス | 0985-28-6161 | 千草町15-8 |
| ホテルマリックスラグーン | 0985-38-5000 | 清水3丁目105 |
| 川六 旅館 | 0985-24-4012 | 清水1丁目5-4 |
| ホテルJALシティ宮崎 | 0985-25-2580 | 橘通西4丁目2-30 |
| 宮崎グリーンホテル | 0985-22-1121 | 大橋2丁目36-1 |
| 宮崎第一ホテル | 0985-23-1111 | 橘通東5丁目4-14 |
| ガーデンテラス宮崎ホテル&リゾート | 0985-73-8888 | 下原町247-18 |
| ビジネスホテル有明 | 0985-51-3888 | 中村東2丁目5-16 |
| 宿 さつま荘 | 0985-51-4488 | 太田3丁目6-9 |
| フェニックス・シーガイア・リゾート | 0985-21-1111 | 山崎町浜山 |
| 料理旅館 湯楽庵 みやざき | 0985-86-6633 | 高洲町244-81 |
| 青島グランドホテル | 0985-65-0111 | 青島1丁目16-64 |
| 青島サンクマール | 0985-55-4390 | 大字折生迫7408 |
| 青島水光苑ホテル | 0985-65-1234 | 大字加江田4664 |
| ANA ホリデイ・イン リゾート宮崎 | 0985-65-1555 | 青島1丁目16-1 |
| 地蔵庵 | 0985-65-0039 | 青島1丁目6-4 |
| 民宿 知福 | 0985-65-0252 | 青島1丁目1-11 |
| 民宿 美波 | 0985-65-0037 | 青島2丁目5-10 |
| 民宿 日向路 | 0985-65-1290 | 青島2丁目4-32 |
| ルートイングランティアあおしま太陽閣 | 0985-65-1531 | 青島西1丁目16-2 |
| ひろせ旅館 | 0985-73-0010 | 佐土原町松小路7-3 |
| 一里山園 | 0985-89-1267 | 高岡町浦之名4907-75 |
| 杜の宿 ホテル四季見 | 0982-72-3733 | 西臼杵郡高千穂町三田井729-29 |

●食、特産品など

宮崎市内の飲食店では、宮崎県内の様々な名産物を楽しむことができる。宮崎牛や地鶏の有名店も多い。特に地鶏については、強力な炭火で肉からしたたり落ちた油が燃えて肉が真っ黒になった「炭火焼き」が名物である。調理法や味付けは店によって微妙に違うため、地元の方々はそれぞれに好みの店がある。また、近年は「みやざき地頭鶏（じどっこ）」が全国的に人気を集めているところである。地鶏の肉は固いとの印象があるかも知れないが、地頭鶏は柔らかく弾力に富み、甘みがあってジューシーである。地鶏の刺身も絶品である。

もう一つ、宮崎と言えば「チキン南蛮」であろう。発祥は延岡市であるが、宮崎市内でも系列店のほか、多くの飲食店で供されている。また、宮崎市は「レタス巻き」「肉巻きおにぎり」発祥の地でもある。

郷土料理としては「冷や汁」が有名である。「釜揚げうどん」も宮崎名物で有名店も多い。日向灘でとれる海の幸を出す店も多い。

宮崎発祥の菓子としてはまんじゅうの中にチーズが入った「チーズまんじゅう」、イチゴが入った「なんじゃこら大福」が定番であろう。

果物としては、宮崎市清武町が発祥とされる「日向夏」がある。夏みかんを一回り小さくし、色はどちらといえばレモンに近い。黄色の皮を薄くむき、白いスポンジ部分を果肉と一緒に食べる。地元ではこれに醤油をかける人もいるようである。

なお、物産館は宮崎県庁のすぐ隣にあり、宮崎県直営の特産品がそろっている。中心市街地の橘通りにも、「ふるさと物産館　海幸・山幸」がある。宮崎港のすぐ近くには農産物直売所「港の駅」があり、青島漁港には海産物の直売センターがある。

●情報案内、道の駅など

観光案内所は、宮崎駅構内、青島の参道入り口にある。道の駅は国道二二〇号の堀切峠のすぐ近くにあり、地元産品の販売のほか、レストランが併設されている。

表４　宮崎市の直売所など

| 直売所 | 電話 | 住所 |
|---|---|---|
| 和みの郷 よっちゃん市場 | 0985-89-2368 | 大字塩路字六反2372-20 |
| ぽっくる農園 | 0985-78-6000 | 大字塩路字小池564 |
| 直売所 たべると | 0985-39-0797 | 大字島之内9124 |
| 宮崎市石崎の杜 歓鯨館 | 0985-62-7757 | 佐土原町下那珂8-1 |
| ふるさと物産館「海幸・山幸」 | 0985-61-3950 | 橘通東2丁目4-8 |
| 農産物直売所 港の駅 | 0985-27-6751 | 稗原町21-1 |
| 楽市場 児玉米穀店 | 0985-41-7261 | 大塚町原の前1578-2 |
| 宮崎市田野物産センター(みちくさ) | 0985-86-5050 | 田野町甲3157-2 |
| 宮崎市漁協直販センター | 0985-65-0606 | 青島3丁目5-1 |
| JA綾町 水の郷綾直販センター | 0985-53-9750 | 中村西3丁目2-44 |
| JAこばやし農産物直売所 百笑村 大塚店 | 0985-53-0828 | 大塚町樋之口2003 |
| 情報案内 | 電話 | 住所 |
| 宮崎市観光協会 | 0985-20-8658 | 錦町1-10 宮崎グリーンスフィア 壱番館3階 |
| 宮崎市観光案内所 | 0985-22-6469 | 錦町1-8 JR宮崎駅構内 |
| 青島観光インフォメーション | 0985-65-1145 | 青島2丁目12-11(青島参道入り口) |
| 江田神社待機所 | | 阿波岐原町産母127 |
| 道の駅 | 電話 | 住所 |
| 道の駅 高岡 | 0985-82-4936 | 高岡町花見304-5 |
| 道の駅 田野 | 0985-86-2960 | 田野町甲7885-164 |
| 道の駅 フェニックス | 0985-65-2773 | 大字内海字三池381-1 |

## 2．日南市

●祭りなど

日南市内での比較的大規模な祭り・イベントとしては、五月末～六月のジャカランダまつり（南郷町）、七月の油津港まつり、十月の飫肥城下まつり、十一月の油津堀川まつりがある。このほか、夏の花火シーズン、プロ野球キャンプシーズンには様々な催しがあるので、事前に確認されたい。

ジャカランダまつりについては既に触れたが、期間中はジャカランダが紫の雲のように咲き誇り、夜はライトアップされ、幻想的な風景を見ることができる。この期間中は、地元特産品の振舞いやステージイベントも多く開催される。油津港祭りの最大

表５　日南市の祭りなど

| 祭りなど | 場所 | 開催月 | 問い合わせ先 | |
|---|---|---|---|---|
| シャンシャン馬道中唄<br>全国大会 | 鵜戸神宮 | 3月 | シャンシャン馬道中唄<br>全国大会事務局 | 0987-31-1134 |
| 花立公園桜まつり | 花立公園 | 3-4月 | 日南市商工観光課 | 0987-31-1134 |
| ジャカランダまつり | 道の駅 なんごう | 5-6月 | ジャカランダまつり実行委員会 | 0987-31-1134 |
| 油津港まつり | 油津港 | 7月 | 油津港まつり協賛会 | 0987-31-1134 |
| なんごう黒潮まつり | B&G海洋センター前広場<br>(目井津港内) | 8月 | なんごう黒潮まつり<br>実行委員会事務局 | 0987-64-1723 |
| 伊勢えび大漁まつり | 日南海岸 | 9-11月 | 日南市観光協会 | 0987-31-0606 |
| 飫肥城下まつり | 飫肥城周辺 | 10月 | 飫肥城下まつり協賛会 | 0987-31-1134 |
| | | | 日南市観光案内所 | 0987-31-0606 |
| 油津堀川まつり | 堀川夢ひろば | 11月 | 油津堀川まつり実行委員会事務局 | 0987-23-2211 |

でのチョロ船体験のほか、弁甲筏流しを見ることができる。もちろん、夢広場を中心として多くの屋台が並ぶ。

以上に加え、最近注目されているのが、「日南の幸びらき」と呼ばれる体験型ツアーイベントもある。日南市内にある工場や、焼酎や醤油の蔵、あるいは漁港、飲食店など多くの企業が参加し、そこを少人数で訪れ、地元の人でもあまり知らないような体験をすることができる。シーズンごとにプログラムが発表され、完全予約制なので、折に触れてＨＰをチェックしてみて欲しい。

●ホテルなど

日南市油津地区には、比較的多くのホテル、旅館がある。ただし、プロ野球キャンプシーズンなどは混み合うので注意されたい。また、北郷町花立公園内には、ホテル・温泉・ゴルフ場が一つになったリゾートがあり、北郷温泉地区には複数の旅館がある。飫肥地区の宿泊施設は少ないので注意されたい。

日南市から日南海岸を南下すると海岸沿いに幾つかの民宿がある。また、南郷町には海辺に中規模のホテルが、街なかにも小規模のホテルがある。

の見せ場は、花火大会で、一万発という県内最大規模の打ち上げ数を誇る。日中には「弁甲競漕大会」や飫肥杉木造船の「チョロ船」の乗船体験がある。飫肥城下まつりでは、郷土芸能や武者行列・ミスお姫様などのパレードが繰り出し、盛大な時代絵巻が披露される。また、元禄のころから伝わる泰平踊もなかなか格調高い。油津堀川まつりでは、堀川運河をイルミネーションで飾る点灯式のあと、夢広場のステージでライブやイベント、運河

表６　日南市のホテルなど

| ホテル・旅館 | 電話 | 住所 |
|---|---|---|
| 民宿 ふるさと | 0987-23-6686 | 油津4丁目13-6 |
| 旅館 城戸荘 | 0987-23-1011 | 春日町15-24 |
| ホテルシーズン日南 | 0987-22-5151 | 園田3丁目11-1 |
| ビジネスホテルサンライズ | 0987-23-9645 | 岩崎1丁目9-11 |
| ふじやす旅館 | 0987-22-2738 | 岩崎2丁目11-10 |
| 旅館 日南子 | 0987-23-2115 | 岩崎2丁目4-7 |
| 日南第一ホテル | 0987-23-9111 | 岩崎3丁目3-13 |
| 旅館 いろは | 0987-23-2339 | 岩崎3丁目7-1 |
| ホテルリッチ | 0987-22-2121 | 戸高2丁目1-5 |
| 旅館 百合 | 0987-25-2559 | 飫肥1丁目1-21 |
| かんぽの宿 日南 | 0987-22-5171 | 星倉2228-1 |
| おびむらさき(貸別荘) | 0987-25-1680 | 飫肥9丁目-1-26 |
| 酒谷キャンプ場 | 0987-26-1216 | 酒谷甲3360-2 |
| ロッヂ「N'TRIBE」 | 0987-23-8324 | 平山2318-2 |
| 民宿 南光 | 0987-29-1014 | 宮浦3317 |
| 鵜戸民宿ドライブイン | 0987-29-1024 | 宮浦4912-乙 |
| ホテル・ドライブイン大海 | 0987-29-1308 | 宮浦568-1 |
| ドライブイン弥太郎 | 0987-29-1052 | 富士1694-1 |
| 富士民宿 | 0987-29-1296 | 富士1726 |
| はまゆう荘 | 0987-27-1502 | 大堂津3丁目-7-10 |
| 農家民宿 上の丘 | 0987-27-1816 | 萩之嶺3540-1 |
| 日南海岸南郷プリンスホテル | 0987-64-2111 | 南郷町城浦 |
| みよし家 | 0987-64-0128 | 南郷町中村乙2072‐1 |
| ホテル丸万 | 0987-64-1788 | 南郷町中村乙4893 |
| 鈴之家旅館 | 0987-64-0015 | 南郷町中村乙4898 |
| 旅館 美亜 | 0987-64-0816 | 南郷町中村乙56-1 |
| ビジネスホテルサーフィン | 0987-64-0748 | 南郷町中村乙57-1 |
| 宿 なんごう | 0987-64-2010 | 南郷町潟上134-97 |
| 大島アドベンチャーキャビン | 0987-31-1134 | 南郷町中村乙7619-1 |
| 栄松ビーチキャンプ場 | 0987-64-0002 | 南郷町中村乙4178-1 |
| サンチェリー北郷 | 0987-55-3611 | 北郷町大藤甲1519-3 |
| 北郷温泉旅館 丸新荘 | 0987-55-2953 | 北郷町大藤甲3619-2 |
| 農園びくにっく | 0987-55-3309 | 北郷町大藤乙229-ロ |
| 北郷音色香の季 合勧のはな | 0987-21-7110 | 北郷町郷之原2711 |
| ホテルジェイズ日南リゾート | 0987-55-3333 | 北郷町郷之原甲2821-1 |
| 蜂之巣コテージ | 0987-55-3828 | 北郷町郷之原甲2850-1 |

●食、特産品など

日南市と言えばまずは海産物である。とびきり新鮮なカツオの刺身やたたきはモチモチとして甘い。また、地元ならではの料理として、刺身をご飯の中に入れ熱いお茶をかけて食べる「かつおめし」や、マグロの胃袋「ごんぐり」料理がある。最近ではご当地グルメとして、「日南一本釣りカツオ炙り重」が人気である。各飲食店は、味付けや食べ方など特定のルールに従った上でそれぞれの特徴を出している。

伊勢えびも名産である。九～十一月がシーズンで、日南海岸沿いの飲食店は「伊勢えび大漁まつり」と銘打ち、伊勢えび料理を提供する。さらに、伊勢えびの陰に隠れているが、アサヒガニやウチワエビは日南海岸の知る人ぞ知る。

日南市内の地区別に見ると、油津地区では、「魚うどん」が有名である。これは、戦時中の食糧不足の頃、代用食として魚のすり身で麺をつくり、うどんのようにしたもので、あっさりした中に魚の味わいがある。

一方、飫肥地区のグルメとしては、飫肥天、厚焼き卵、手焼きせんべいが伝統的代表格である。飫肥天は、薩摩揚げに似ているが、それより柔らかくかなり甘い。厚焼き卵は、これも江戸時代から伝わるもので、味も食感も卵焼きというよりはプリンに近い。手焼きせんべいは、松葉の形で、外側は最中に似たパリッとした生地、中は砂糖蜜で張り合わせてある。この三種、いずれも甘みの強いもので、武家の豊かな文化の象徴と言えよう。

山間部に目を移すと、日南市北郷町には珍味「かにまき汁」がある。広瀬川に生息する「山太郎がに（モクズガニ）」を石臼で潰してつくる旨みがしっかりと凝縮された吸い物である。山太郎がには大量に獲れるものではないので、どこでも味わえるわけではないが、巡り会うことができたらぜひトライしてみたい。

このほかの特産農産物としては、

表７　日南市の直売所など

| 直売所 | 電話 | 住所 |
|---|---|---|
| 上郷即売所 | 0987-55-2700 | 北郷町郷之原甲3017-1 |
| サンチェリー北郷<br>ゆの駅「海幸・山幸」 | 0987-55-3611 | 北郷町大藤甲1519-3 |
| ＪＡはまゆうアグリショップ | 0987-21-1368 | 中央通2丁目3-18 |
| 里のあきね | 0987-28-1456 | 大字大窪1416-1 |
| 南郷地どれ会 | 0987-64-3830 | 南郷町中村乙65-1 |
| よわら夢ひろば | 0987-21-8001 | 南郷町榎原甲109-4 |
| こざえん | 0987-27-2789 | 日南市下方122-1 |
| 愛菜果花(あい・さい・か・か) | 0987-23-1476 | 大字殿所2702-1 |
| 直売所 やまんくち | 080-6419-1626 | 大字楠原558-1 |
| おおはし茶屋 | 0987-25-1020 | 大字吉野方2924-2 |
| 港の駅 めいつ | 0987-64-1581 | 南郷町中村乙4862-9 |
| 大戸野即売所 | 0987-56-1035 | 北郷町北河内7023-20 |
| 大藤即売所 | 0987-55-2935 | 北郷町大字大藤甲803-2 |
| 情報案内 | 電話 | 住所 |
| 日南市観光協会 | 0987-31-1134 | 中央通1丁目1-1<br>日南市商工観光課内 |
| 日南市観光案内所 | 0987-31-0606 | 岩崎2丁目13−3 JR油津駅構内 |
| 道の駅 | 電話 | 住所 |
| 道の駅 なんごう | 0987-64-3055 | 南郷町贄波3220-24 |
| 道の駅 酒谷 | 0987-26-1051 | 大字酒谷甲1840-4 |

マンゴーに地頭鶏も見逃せない。いずれも宮崎県の特産品であるが、実は日南市内で多く生産される。さらに、先述の日向夏のほか、温州ミカン、キンカン、デコポン、タンカンなど柑橘系は種類が豊富である。市内には果物の直売所が多く、比較的安価で手に入れることができる。

そしてなにより日南市と言えば焼酎と醤油である。市内にはいくつもの焼酎蔵があり、芋焼酎をベースに様々な銘柄が生産されている。日南市の焼酎は芋のにおいが少なく、すっきりとした味わいのものが多い。その上に、蔵ごとに個性豊かな味わいを持つ。醤油蔵も市内に集中している。南九州の醤油は甘めのものが多い。郷土料理とあわせて味わってみたい。

●情報案内、道の駅など

独立した観光案内所はないが、飫肥城の駐車場、油津の堀川資料館、道の駅にはパンフレット等の観光資料がある。ホテル・宿泊施設でも入手できるので活用されたい。道の駅は、先述のように、道の駅なんごう、道の駅酒谷があり、観光情報の提供、物販のほか、地域づくり活動の拠点となっている。

## 3．串間市

●祭りなど

二月上旬には都井岬の野焼きがある。ダニなどの病害虫を駆除し、春の芽吹きをよくするために、牧組合の人々によって実施される。春の訪れを予感させる冬の風物詩となっている。

八月中旬には福島港花火大会がある。打ち上げ前にはバンドや太鼓演奏などもあり、地場産品販売や軽食コーナーもあるので、ゆっくりと夏の夜を楽しみたい。

八月下旬には、期間二日間で約一万人が訪れる、串間市最大の祭りである都井岬火まつりがある。都井地区に伝わる大蛇伝説にちなんだ伝統行事「柱松」がメインで、高さ三十メートルの柱を立て、その頂上めがけて下から松明を投げ入れる。松明は、暗闇の中で放物線を描いて何度も投げ上げられる。柱松の頂点に松明が命中すると、仕掛けられた花火から火花が吹き出す。この豪快かつ幻想的な光景は一見の価値ありである。

このほか、串間市でも体験型プログラム「南国時間」が提供されている。先述のトビウオすくいやグラスボート、芋掘りなど、平成二十七年時点で二二のプログラムがある。

●ホテルなど

串間市街地に数件の宿泊施設（ビジネスホテル、旅館、民宿）があり、本城地区には「串間温泉いこいの里」のほか、二軒の宿泊施設がある。また、都井岬には国民宿舎のほか、二軒の民宿がある。

●食、特産品など

当然であるが海の幸に恵まれている。特に、カンパチやブリの養殖が盛んで、ご当地グルメとして「串間活〆ぶりプリ丼ぶり」を売り出し中である。串間で養殖されたブリと五種類以上の旬の野菜を使ったどんぶりで、平成二五年にデビューして多くの観光客に人気のメニューとなっている。またトビウオの刺身は鮮度が命で、串間市内で供される刺身は他所とはひと味違う。

焼酎も特産である。市内には蔵が三軒あり、個性的な芋焼酎を生み出している。さらに、サツマイモ、マンゴー、完熟キンカンなども名産品である。

●情報案内、道の駅など

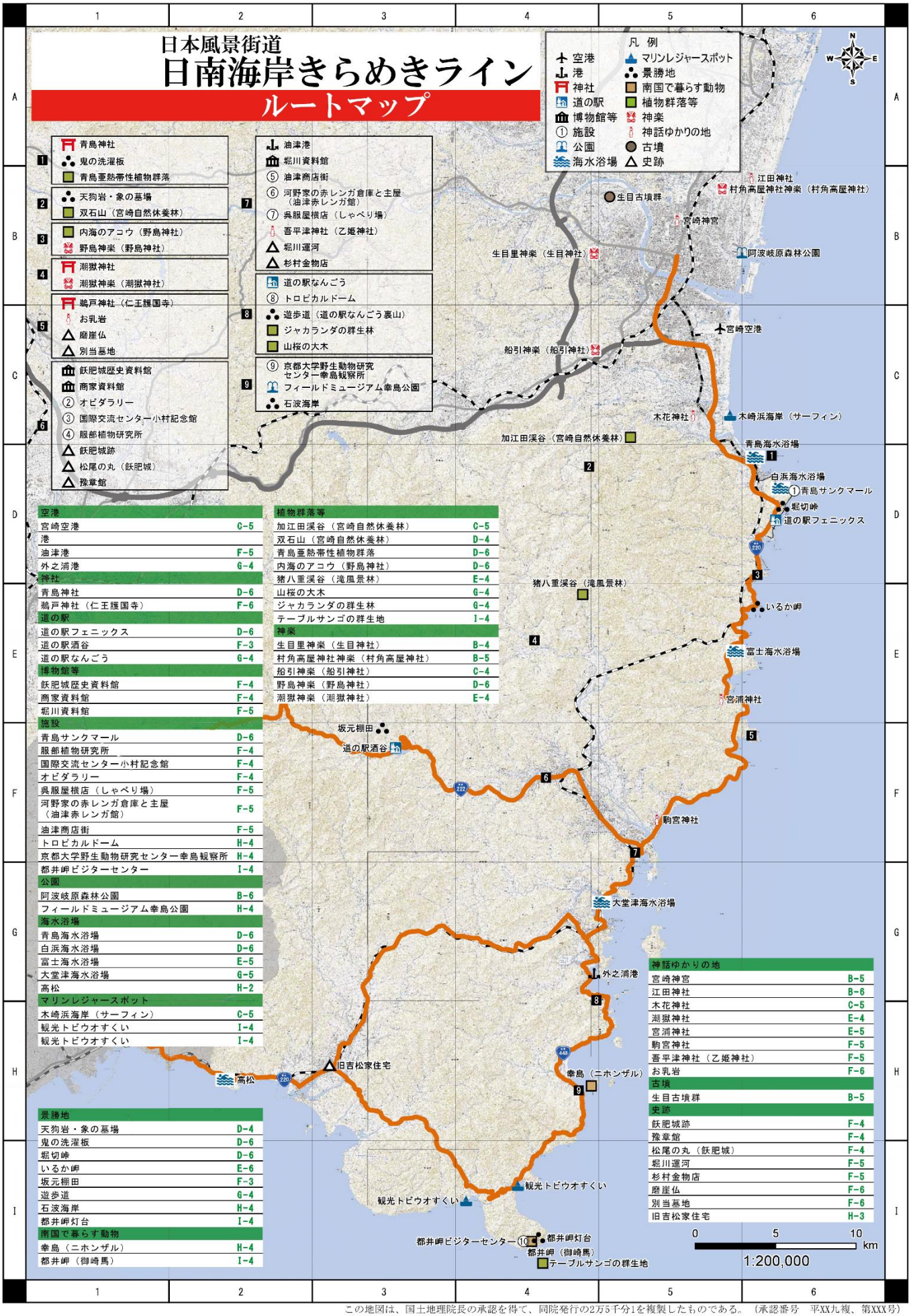
道の駅は市内にはないが、観光協会や串間温泉や旧吉松邸等の観光施設で情報を入手することができる。

表８　串間市の祭りなど

| 祭りなど | 場所 | 開催月 | 問い合わせ先 | |
|---|---|---|---|---|
| きんかん祭り | JA串間市大東 | 2月 | JA串間市大東 | 0987-74-1101 |
| 吉松邸ひな祭り | 旧吉松家住宅 | 2-3月 | 旧吉松家住宅 | 0987-72-6511 |
| 焼肉フェスティバルin笠祇 | 福島地区・笠祇岳山頂 | 4月 | | |
| あたご祭り | 仲町商店街 | 7月 | | |
| 福島港花火大会 | 福島港 | 8月 | くしま活性化委員会 | 0987-72-0053 |
| 都井岬火まつり | 旧都井岬観光ホテル前広場 | 8月 | くしま活性化委員会 | 0987-72-0053 |
| イセエビまつり | 福島港 | 9月 | 串間市漁業協同組合 | 0987-72-0020 |
| 串間市民秋まつり | 串間商工会議所前広場 | 11月 | くしま活性化委員会 | 0987-72-0053 |
| 吉松邸まつり | 旧吉松家住宅 | 11月 | 旧吉松家住宅 | 0987-72-6511 |

表９　串間市のホテル、直売所など

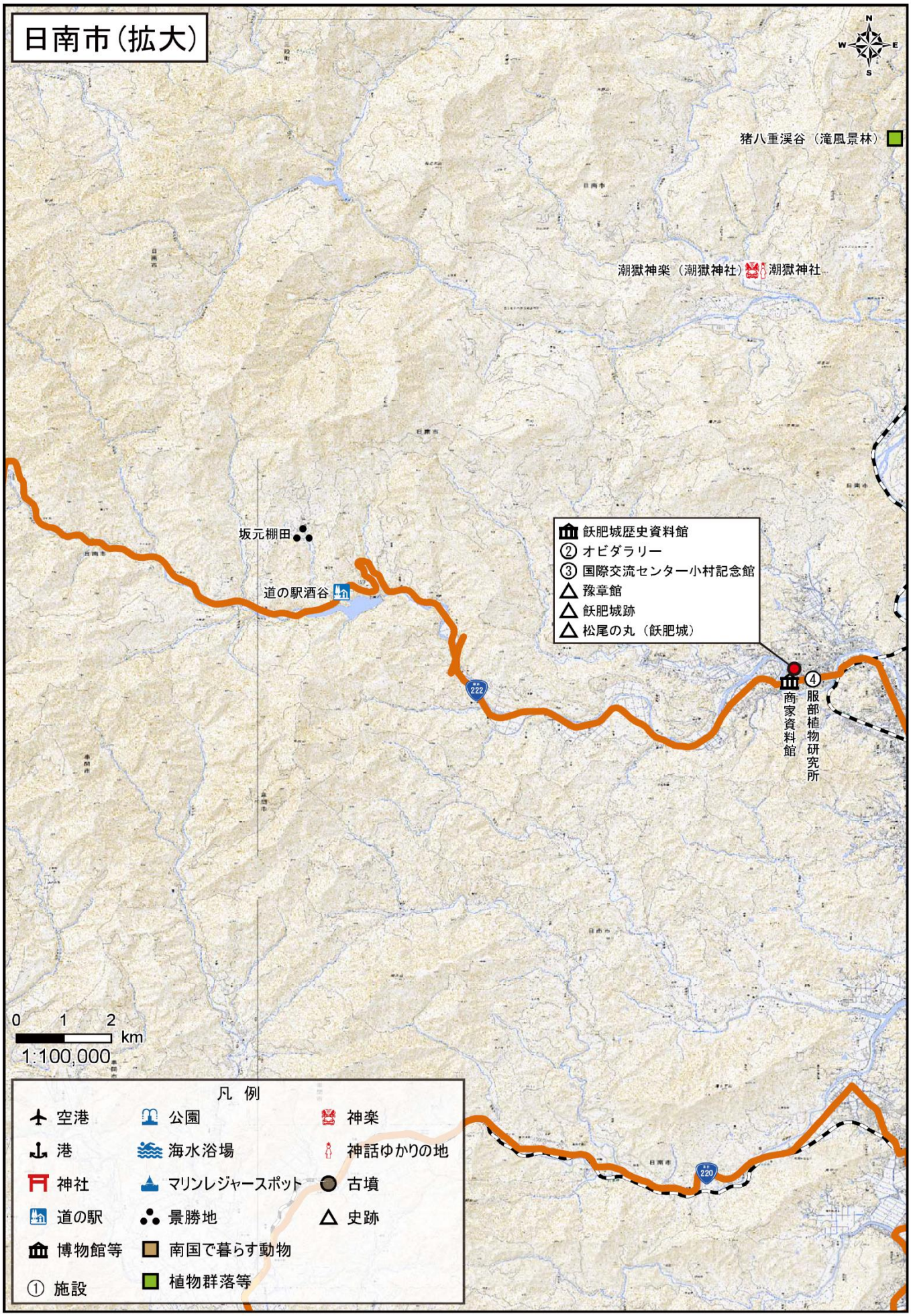
| ホテル・旅館 | 電話 | 住所 |
|---|---|---|
| 都井岬国民宿舎(民営) | 0987-76-1000 | 大納42-ロ |
| 黄金荘 | 0987-76-1029 | 大納48-7 |
| 海洋荘 | 0987-76-1354 | 大納58 |
| 民宿恋ヶ浦 | 0987-76-1631 | 大納2030 |
| 民宿田中 | 0987-76-2096 | 大納2050-2 |
| カントリーフィールド | 0987-76-2076 | 大納1706 |
| 一里崎荘 | 0987-75-1225 | 本城11062-4 |
| 串間温泉いこいの里 | 0987-75-2000 | 本城987 |
| Camp権代 | 090-1199-5496 | 本城2792-2 |
| 永友荘 | 0987-72-0050 | 西方5475 |
| ホテル中村荘 | 0987-72-0038 | 西方6714 |
| あかつき荘 | 0987-72-0623 | 西方7312-4 |
| よしや旅館 | 0987-72-1667 | 西方15031 |
| よしの屋 | 0987-72-1095 | 高松1091 |
| つるや | 0987-72-4320 | 高松1101 |
| えびすや | 0987-72-1097 | 高松1101-7 |
| 民宿あさと | 0987-72-8819 | 西方14796-22 |
| 直売所 | 電話 | 住所 |
| 串間温泉いこいの里 | 0987-75-2000 | 本城987 |
| 峠の茶屋 生産者直売所よちみろかい | 0987-74-1118 | 大字奈留95-1 |
| 情報案内 | 電話 | 住所 |
| 串間市観光協会 | 0987-72-0479 | 大字西方5497-1 |
| 道の駅など | 電話 | 住所 |
| 道のよこ | 090-3074-0761 | 大字北方6696-1 |
| くしま駅の駅 | 0987-72-3819 | 大字西方字栗下5730 |
| 浜の駅 | 0987-72-4113 | 大字高松25-1 |
| 港の駅 | 0987-72-0020 | 大字西方15071-127 |

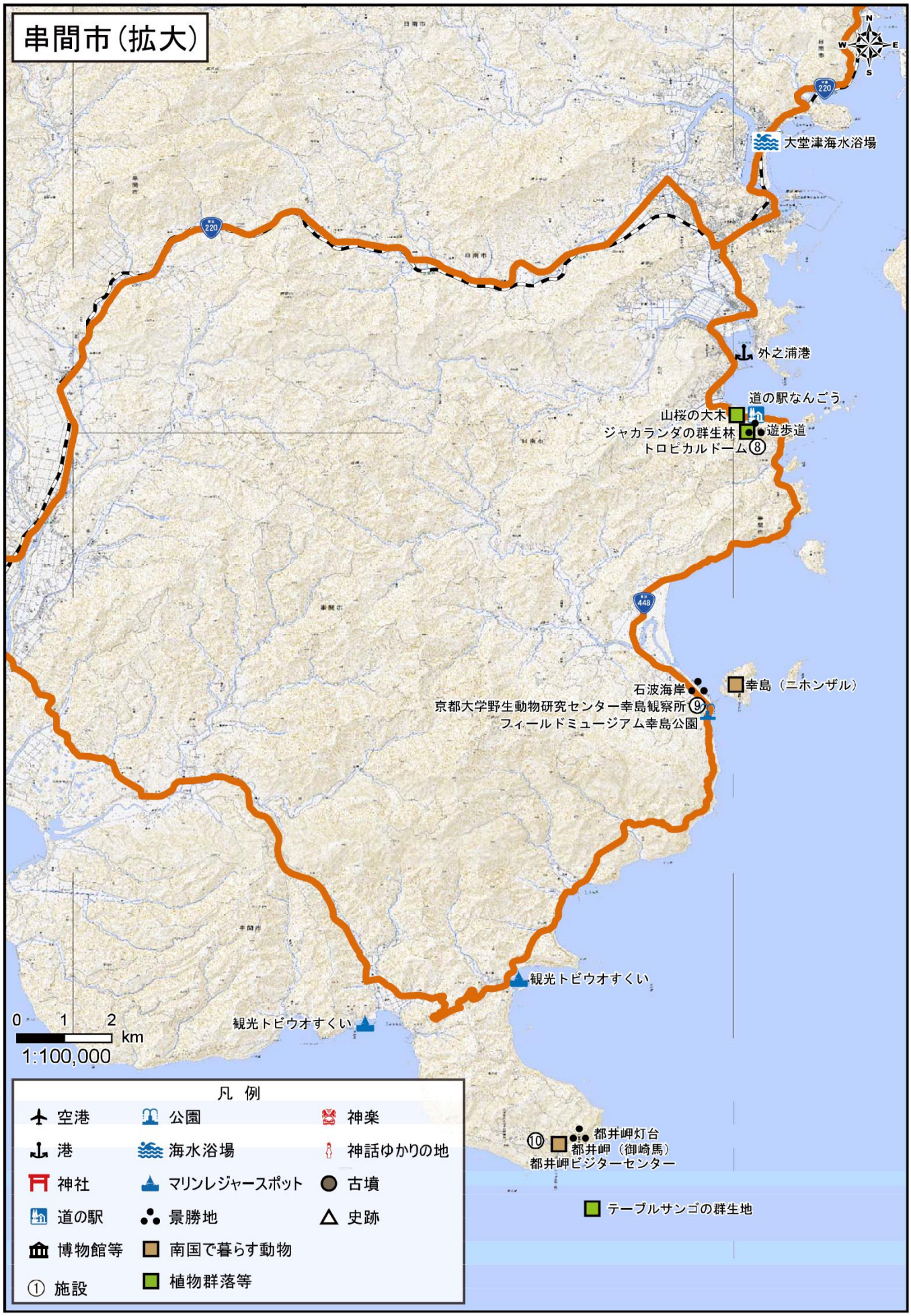



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1を複製したものである。（承認番号　平XX九複、第XXX号）

宮崎市（拡大）
N
W
E
S
江田神社
村角高屋神社神楽（村角高屋神社）
生目古墳群
宮崎神宮
生目里神楽（生目神社）
阿波岐原森林公園
宮崎空港
船引神楽（船引神社）
220
木花神社
木崎浜海岸（サーフィン）
加江田渓谷（宮崎自然休養林）
青島海水浴場
青島亜熱帯性植物群落
鬼の洗濯板
青島神社
天狗岩・象の墓場
双石山（宮崎自然休養林）
白浜海水浴場
青島サンクマール
0 1 2 km
1:100,000
堀切峠
道の駅フェニックス
凡 例
空港
公園
神楽
港
海水浴場
神話ゆかりの地
神社
マリンレジャースポット
古墳
道の駅
景勝地
史跡
博物館等
南国で暮らす動物
施設
植物群落等
内海のアコウ（野島神社）
野島神楽（野島神社）

日南市（拡大）
内海のアコウ（野島神社）
野島神楽（野島神社）
猪八重渓谷（滝風景林）
いるか岬
富士海水浴場
宮浦神社
磨崖仏
鵜戸神社（仁王護国寺）
お乳岩
別当墓地
駒宮神社
油津商店街
⑥ 河野家の赤レンガ倉庫と主屋（油津赤レンガ館）
⑦ 呉服屋横店（しゃべり場）
堀川資料館
吾平津神社（乙姫神社）
杉村金物店
堀川運河
油津港
大堂津海水浴場
外之浦港
0 1 2 km
1:100,000
凡 例
空港
公園
神楽
港
海水浴場
神話ゆかりの地
神社
マリンレジャースポット
古墳
道の駅
景勝地
史跡
博物館等
南国で暮らす動物
① 施設
植物群落等


日南市（拡大）
N
W
E
S
猪八重渓谷（滝風景林）
潮獄神楽（潮獄神社）
潮獄神社
坂元棚田
道の駅酒谷
飫肥城歴史資料館
② オビダラリー
③ 国際交流センター小村記念館
豫章館
飫肥城跡
松尾の丸（飫肥城）
④ 服部植物研究所
商家資料館
222
220
0 1 2 km
1:100,000
凡 例
空港
公園
神楽
港
海水浴場
神話ゆかりの地
神社
マリンレジャースポット
古墳
道の駅
景勝地
史跡
博物館等
南国で暮らす動物
① 施設
植物群落等


串間市（拡大）
大堂津海水浴場
外之浦港
道の駅なんごう
山桜の大木
ジャカランダの群生林
遊歩道
トロピカルドーム⑧
幸島（ニホンザル）
石波海岸
京都大学野生動物研究センター幸島観察所⑨
フィールドミュージアム幸島公園
観光トビウオすくい
観光トビウオすくい
都井岬灯台
⑩
都井岬（御崎馬）
都井岬ビジターセンター
テーブルサンゴの群生地
0 1 2 km
1:100,000
凡 例
空港
公園
神楽
港
海水浴場
神話ゆかりの地
神社
マリンレジャースポット
古墳
道の駅
景勝地
史跡
博物館等
南国で暮らす動物
① 施設
植物群落等

串間市（拡大）
N
W
E
S
220
220
448
旧吉松家住宅
高松
0 1 2
km
1:100,000
凡 例
空港
公園
神楽
港
海水浴場
神話ゆかりの地
神社
マリンレジャースポット
古墳
道の駅
景勝地
史跡
博物館等
南国で暮らす動物
施設
植物群落等

九州風景街道ガイドブック

# 人のくに、美のくに九州　Q-1　日南海岸きらめきライン

平成28年3月31日　　初版第1刷発行

著者　　ルートガイド編纂委員会：樗木武、堤昌文、玉川孝道、吉武哲信、桝谷秀秋
　　日南海岸きらめきライン担当（文責）：吉武哲信

発行　　九州風景街道推進会議
　　事務局（九州地方整備局道路計画第二課内）

本書の内容の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。